

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ペンタトニックフレーズ		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、講師に就任。いくつかのバンド活動を経て、現在は黒夢や青春、ROOTFIVE ほか、さまざまなアーティストのレコーディング、ライブなどに参加しセッションギタリストとして活動中。前記経験を活かし、ギター奏法を教える。				
<b>授業概要</b>					
ペンタトニックスケールを視覚的にも音でも理解し、アドリブを弾ける様になろう。ペンタトニックを使ったフレーズを紹介し、実際に弾いてみて、自分のフレーズに取り入れてみよう。					
<b>到達目標</b>					
ペンタトニックスケールを視覚的、音で理解しアドリブを弾ける様にする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ペンタトニックスケールとは？ C メジャーペンタトニックを弾いてみよう。様々な KEY のメジャーペンタトニックを弾いてみよう。ポジション 1 を弾こう！				
2 回目	メジャーとマイナーの関係性を知ろう。ポジション 1 を復習。ポジション 2 を弾こう！				
3 回目	ポジション 2 を復習。ポジション 3 を弾こう！				
4 回目	ポジション 3 を復習。ポジション 4 を弾こう！				
5 回目	ポジション 4 を復習。ポジション 5 を弾こう！				
6 回目	メジャーとマイナーを交互に弾いてみよう！				
7 回目	転調に対応したペンタトニックを弾ける様になろう！				
8 回目	まとめ。アドリブを弾いてみよう！				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	「持ち歌」を作るクラス		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Vocal Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業。幼少ときからミュージカルで舞台経験を積む。現在は ピアノの弾き語りライブやメジャーアーティストのバックコーラスなどを行っている。				
<b>授業概要</b>					
1 学期間かけて一つの曲を歌い続けて いつでもライブで披露できるような「持ち歌」を作る					
<b>到達目標</b>					
1 曲を継続して練習していくことで 弱点の発見と克服、楽曲の練習方法を学ぶ。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	授業概要説明。自分に一番合う曲の探し方。歌唱				
2 回目	歌唱。弱点箇所の炙り出し、今学期の目標設定、練習方法				
3 回目	歌唱。声区を理解する				
4 回目	歌唱。Groove を理解する				
5 回目	歌唱。ジャンルの特徴を理解する				
6 回目	歌唱。歌詞の解釈方法				
7 回目	歌唱。効果的なパフォーマンス (動き)				
8 回目	歌唱。効果的な曲紹介 (MC)、衣装				
9 回目	Final Exam (ライブ形式で歌唱→動画撮影→フィードバック)				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	MIXED VOICE		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Vocal Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業。幼少ときからミュージカルで舞台経験を積む。現在は ピアノの弾き語りライブやメジャーアーティストのバックコーラスなどを行っている。				
<b>授業概要</b>					
高音域の曲を歌う為には、Chest Voice の音域を広げるしかないと思いませんか？ Arytenoid をちゃんと使いこなせていますか？ Head Voice と Mask Resonance をうまく Mix できれば、今よりもずっと楽に歌えるようになります。10 週間で、克服しましょう！					
<b>到達目標</b>					
MIXED VOICE を鍛える					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	そもそも Mixed Voice とは。				
2 回目	徹底スケール練習				
3 回目	徹底スケール練習				
4 回目	徹底スケール練習				
5 回目	徹底スケール練習				
6 回目	曲の中で使ってみる				
7 回目	曲の中で使ってみる				
8 回目	曲の中で使ってみる				
9 回目	Review・歌唱テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	vocalization		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Vocal Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	1991 年 AION でメジャーデビュー。その後 VOLCANO に参加し海外デビュー。また地獄カルテットでも活動している。教則本「地獄のメカトレ・シリーズ」のヴォーカル版「地獄のボーカルトレーニングフレーズ」を執筆。				
<b>授業概要</b>					
強い声を作ることで、色んな歌が歌えるよ。リラックス、力を入れる、体の使い方やイメージトレーニングなど、NOV の何十年やってきているプラクティスを伝授。					
<b>到達目標</b>					
強い声を作る。リラックス、力を入れる、体の使い方をイメージできるようにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	声をしっかり出すための姿勢と体の使い方、喋り声と歌声の違い				
2 回目	音程ガイドメロディに合わせて喉を開く言葉「Ha」を声にして出し続けブレスのポイントをチェック				
3 回目	メロディガイドを無くして、コード音だけで、音程を拾い声に出す練習				
4 回目	ハーモニーの訓練として 1 度 3 度 5 度の基本形をグループを作り同時に声で出す				
5 回目	声を出しながらクラブをビートに合わせて打つ練習				
6 回目	クラブ&ステップを打ちながらメロディを声に出す練習				
7 回目	大きく強い声とリズムを出すバランスを体に伝える練習				
8 回目	言葉を出しながらメロディのピッチチェック				
9 回目	ブレス訓練。リズム、ピッチ、ボイスクオリティの総合性チェック。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Vocalst の為の はじめての作詞作曲！！		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Vocal Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業。幼少ときからミュージカルで舞台経験を積む。現在は ピアノの弾き語りライブやメジャーアーティストのバックコーラスなどを行っている。				
<b>授業概要</b>					
せっかくなので歌うだけじゃなくて作詞作曲もできるようになりましょう。「自分で作った曲を歌う」という経験は今後のボーカリスト人生においてとても大きな一歩です。さあ始めよう！！超初心者向け					
<b>到達目標</b>					
曲作りを通して、歌い方で楽曲の雰囲気が大きく変わることを体感し、今後のパフォーマンスに変化をもたらす					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	メロディーの基礎①				
2 回目	メロディーの基礎②				
3 回目	作詞の基礎①				
4 回目	作詞の基礎②				
5 回目	メロディー発展編①				
6 回目	メロディー発展編②				
7 回目	作詞発展編①				
8 回目	作詞発展編②				
9 回目	メロディー + 歌詞の提出				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	とにかくなんでも歌ってみるクラス		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Vocal Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業。幼少ときからミュージカルで舞台経験を積む。現在は ピアノの弾き語りライブやメジャーアーティストのバックコーラスなどを行っている。				
<b>授業概要</b>					
世界で活躍するヴォーカリストになるために、必ず知っておくべき有名曲を ジャンル問わず歌ってみよう！					
<b>到達目標</b>					
これまで歌ったことのなかった曲に挑戦していくことで 新しい可能性や発見を促す。時代毎の音楽の特徴を把握する。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	授業概要説明。50 年代の音楽 (Rock 'N' Roll、ムード歌謡 etc.)				
2 回目	60 年代の音楽 (Blues Rock、グループサウンズ etc.)				
3 回目	70 年代の音楽 (Hard Rock、フォーク etc.)				
4 回目	80 年代の音楽 (Punk Rock、アイドル歌謡 etc.)				
5 回目	90 年代の音楽 (Grunge、小室ブーム etc.)				
6 回目	00 年代の音楽 (Emo、テクノポップ etc.)				
7 回目	10 年代の音楽 (EDM、ボカロ etc.)				
8 回目	20 年代の音楽 (Top 40)				
9 回目	Final Exam (授業内で練習した曲を 2 曲選び歌唱)				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	パワフルハイトーン&ソング		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Vocal Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	1991 年 AION でメジャーデビュー。その後 VOLCANO に参加し海外デビュー。また地獄カルテットでも活動している。教則本「地獄のメカトレ・シリーズ」のヴォーカル版「地獄のボーカルトレーニングフレーズ」を執筆。				
<b>授業概要</b>					
この音程を出したいけど高すぎて出ない。それをクリアするために必要な喉の使い方、発声レクチャー&レッスン。カラオケも使用					
<b>到達目標</b>					
音程感をつけながら音階を上げる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	声の出し方、仕組み、説明から声出し				
2 回目	発声、ロウボイスから				
3 回目	発声、ファルセットから				
4 回目	発声、ロウとファルセットでのノドの切り替え				
5 回目	発声、ミドルをつかむ				
6 回目	発声、ノドの仕組みをイメージして操作				
7 回目	発声、シャウトを取り入れていく				
8 回目	発声、ピッチのコントロール				
9 回目	まとめ・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	音感が身に付く、ハーモニー、コーラス、アカペラレッスン ～チャレンジ！MI Glee Monster～		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Vocal Style Selection I, II	年次	1年次, 2年次, 研究科	
授業時間	90分 (1単位時間 45分)	年間授業数	9回 (18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	映画、テレビ、アニメ、CM などメディアに数々の作品に歌唱参加、楽曲提供。アーティストへ作詞提供、プロアマ問わず歌詞指導や音楽ディレクターとして関わる。前記経験を活かし、ヴォーカルの授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
音楽、とくに歌にとって相対音感を鍛えることは必須です。理論だけではなく、感覚的にもかっこいい！ゾクゾクする！コーラスラインを見つけ、アンサンブル、レコーディング、ライブなどに活用できる力を養います。					
<b>到達目標</b>					
相対音感を身に付け、また声を合わせる上で重要なコミュニケーション能力、ハーモニー作成による創造力を身に付ける。					
<b>授業計画・内容</b>					
1回目	初級編①：邦楽 ※受講者のレベルチェックも兼ねる				
2回目	初級編②：洋楽 ※洋楽でのレベルチェック				
3回目	中級編①：邦楽 ※歌い上げ系				
4回目	中級編②：洋楽 ※歌い上げ系				
5回目	上級編①：邦楽 ※ハーモニー・コーラスがやや難しい曲				
6回目	上級編②：洋楽 ※難しい曲				
7回目	ハーモニー作成してみよう① 受講者の練習してみたい曲を課題曲とする				
8回目	ハーモニー作成してみよう② 受講者の練習してみたい曲を課題曲とする				
9回目	Final Exam (授業内で練習した曲から選び歌唱披露)				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Blues Guitar and Funk Guitar		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース以外のコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、海外で精力的な音楽活動を行い帰国。MI TOKYO で講師を務める 傍ら、さまざまなアーティストの楽曲制作を行っている。				
<b>授業概要</b>					
Blues と Funk というジャンルに必要なバックিংやオブリやアドリブソロのテクニックを JAM って学んでいきます！					
<b>到達目標</b>					
Blues と Funk というジャンルを理解し、演奏できるようにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	課題曲 Sex Machine / James Brown を学び演奏				
2 回目	12 bar Blues を学び演奏				
3 回目	8 bar Blues (Key to the highway)を学び演奏				
4 回目	課題曲 Give It Up Or Turnit A Loose / James Brown を学び演奏				
5 回目	課題曲 Sunshine Of Your Love / Cream を学び演奏				
6 回目	Funk ギターチャートから選んだリズムパターンを使って演奏				
7 回目	課題曲 One Way Out / The Allman Brothers Band を学び演奏				
8 回目	課題曲 Chank / John Scofield を学び演奏				
9 回目	総復習とテスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	VOCAL 以外のボイストレーニング		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース以外のコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	1991 年 AION でメジャーデビュー。その後 VOLCANO に参加し海外デビュー。また地獄カルテットでも活動している。教則本「地獄のメカトレ・シリーズ」のヴォーカル版「地獄のボーカルトレーニングフレーズ」を執筆。				
<b>授業概要</b>					
ドラマー、ベーシスト、ギタリスト、キーボードニスト達も時にはハーモニーコーラスをしたりするかもしれないので、ここでは基本基礎をメインに声を鍛えます。					
<b>到達目標</b>					
ハーモニーコーラスに対応できる声を作る					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	授業内容と到達目標の説明。発声練習				
2 回目	強い声を出す仕組み				
3 回目	呼吸のコントロール				
4 回目	おなかと気管について				
5 回目	モチベーションについて				
6 回目	声と歌				
7 回目	メロディとリズム				
8 回目	どこまでも強く				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ALL ABOUT GUITAR Free		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	高校卒業と同時にスタジオミュージシャン夫妻のローディーとなり、実技&楽典を学ぶ。若手バンドの楽曲や活動の面倒を見ながら、ソロヴォーカリストのバックバンドに自身のインストバンドでも活動中。前記 記載の経験を活かしギター奏法やアドリブ、アレンジの授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
一つのトピックについてだけではなく、テーマを毎週決めてフレーズやアナライズをしていきましょう。					
<b>到達目標</b>					
基本的なギターの役割を覚えて、色々なジャンルに対応できるスキルを身につける。楽典、コード、scale、フレーズをおさらいしながらワンランク上のギタリストをめざす。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	好きなジャンルやプレイヤーなどについてディスカッション。現段階での、能力をみるための課題を提示。				
2 回目	今抱えている疑問や質問を募り、トピックとして毎回とりあげ、これを掘り下げる。このトピックを 2 週に亘り、レベルを上げながらアドバイス。				
3 回目	[Chord Basic] トライアド。クローズやオープンで 4 和音のボイスイングを覚える。				
4 回目	[Chord Advanced] 分数コードやテンションの乗ったコードのボイスイング。ドロップ 2、3、2 + 4。				
5 回目	[Scale Basic] メジャースケール（マイナースケール）を 7 箇所まで弾く。ハーモニックマイナーも同様に。				
6 回目	[Scale Aadvanced] シンメトリカル系の scale や、メロディックマイナー-scale 等の紹介。				
7 回目	[Phrase Basic] II-V 系の簡単なフレーズを提示しアナライズ。何のスケールを使用してるか等。1 発ものやモードも。				
8 回目	[Phrase Advanced] 更に考えられる代理コードや裏コードを使い、リハモしたりして、サウンドに彩りをあたえる方法を学ぶ。				
9 回目	Review&Test				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Funk Groove Guitar		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、自身のグループでの活動や、NAMM show Taylor guitars デモンストレーター、TEDx Tokyo ハウスバンドなどのライブ、レコーディングなどを行う。				
<b>授業概要</b>					
Funk Music で使われる様々なテクニック（アクセント、スライド、単音、コード転回、Fill 等）を学び、Funk Music を通して様々な音楽に対応できるリズム感、リズムギターテクニックを身につける。					
<b>到達目標</b>					
Funk Music で使われる様々なテクニックを学ぶ					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Basic 16th note				
2 回目	Swing 16th note				
3 回目	Long & Short note				
4 回目	Chords 1				
5 回目	Chords 2				
6 回目	Single note				
7 回目	Chords & Single notes				
8 回目	Fill				
9 回目	テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Galaxy of fingerboard		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	Guitar Magazine Championship 2012 及び GIT Masters 2012 にて最優秀賞を獲得。現在は Guitarists On Demand をはじめ、数多くのアーティストのライブサポートやレコーディングなどの活動を行っている。				
<b>授業概要</b>					
鍵盤など違って 12 音が均等に並んでいる指板は一見音名の位置やスケールの形を把握するのが難しそうですが、ある区切り方をする事で激的に指板を把握しやすくなります。指板上の理解を深めて良いギターライフを！					
<b>到達目標</b>					
指板上の理解を深める					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	アイオニアンポジション				
2 回目	ドリアンポジション				
3 回目	フリジアンポジション				
4 回目	リディアンポジション				
5 回目	ミクソリディアンポジション				
6 回目	エオリアンポジション				
7 回目	ロクリアンポジション				
8 回目	ポジション複合フレーズによる指板の見え方				
9 回目	総合的なおさらい。実技テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	アドリブの一步		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	Guitar Magazine Championship 2012 及び GIT Masters 2012 にて最優秀賞を獲得。現在は Guitarists On Demand をはじめ、数多くのアーティストのライブサポートやレコーディングなどの活動を行っている。				
<b>授業概要</b>					
<p>即興で演奏してみたいけどなにをどうしたらいいかわからないというアナタ！ そんなに難しく考えなくて大丈夫です。即興の一步を踏み出す上ですべて最初にやるべきことをレクチャーしていきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
即興演奏に対応					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	マイナーペンタ系 1 フレーズの解体				
2 回目	ダイアトニックスケール系 1 フレーズの解体				
3 回目	1 つのフレーズでリズムのはめ方をを変化させて一石何鳥				
4 回目	フレーズとしてダイアトニックコードのアルペジオを使う				
5 回目	1 つのモチーフフレーズによる各ポジションのあてはめ方				
6 回目	速弾き				
7 回目	複数のスケール (または度数) を同時に見る				
8 回目	Review				
9 回目	Session で習得確認				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	アルペジオのすすめ		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	高校卒業と同時にスタジオミュージシャン夫妻のローディーとなり、実技&楽典を学ぶ。若手バンドの楽曲や活動の面倒を見ながら、ソロヴォーカリストのバックバンドに自身のインストバンドでも活動中。前記 記載の経験を活かしギター奏法やアドリブ、アレンジの授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
コード楽器が一人しかないバンドなどではソロ時にスケール弾きだとコード進行等があまり感じられなくなるのでアルペジオでコードトーンを弾いて、うすくなる感を脱出しよう。A-7 のときに C△7 や F# m7(-5)を弾いてみたりして、一皮むけたソロに！					
<b>到達目標</b>					
アルペジオでコードトーンを弾いて、うすくなる感を脱出					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	学生の状況把握のため、まずトライアドのアルペジオを確認。				
2 回目	7 t h を入れた 4 和音でのアルペジオを確認。				
3 回目	メジャー（マイナー）のダイアトニックコードを確認し、5 弦ルートでのアルペジオをプレイ。				
4 回目	ダイアトニックコードでのテンションを把握しているかを確認。				
5 回目	A ドリアンモード上でのアルペジオをレクチャー。				
6 回目	A ミクソリディアン上でのアルペジオをレクチャー。				
7 回目	モードを変えてのアルペジオをチェック。				
8 回目	モードを変えてのアルペジオをチェック。				
9 回目	Review・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	エモーショナルギター研究所		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	数々のレコーディングやライブサポート、楽器メーカーの商品開発やデモ演奏での協力のほか、ギタリスト向け教則本も執筆。自身のバンド「ALHAMBRA」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ギター奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
様々なレッスン等で覚えたスケールもいざ弾こうとすると何となく上昇下降など無機質で機械的になりがち。このレッスンでは歌うような呼吸感のある演奏をする為のコツ等を提供していく。					
<b>到達目標</b>					
自分のイメージするサウンドニュアンスの具体化					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	① : シンプルで使用する機会が多いペンタトニックスケール確認及び指板上での拡げ方				
2 回目	② : ①にブルーノートをプラスしたブルーススケールを①同様に				
3 回目	③ : 装飾音符を使用し①及び②の表現を広げる				
4 回目	④ : スライド及びベンディング、ハンマーオン、プルオフの使い分け				
5 回目	⑤ : ④の延長				
6 回目	⑥ : ダイアトニックスケールを使用し符割りのアイデアなど、バリエーションを広げる				
7 回目	⑦ : ⑥に④の工程等を組み込んでいく				
8 回目	⑧ : 上記の内容にプラスして、コードトーンアルペジオを組み込んでフレーズを創作				
9 回目	⑨ : ⑧の応用				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	カッティング トレーニング		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	バンド「LONG SHOT PARTY」でデビュー。アニメ「NARUTO -ナルト- 疾風伝」のテーマソングなど、レコーディングやリリースを行う。現在は長澤まさみ、錦戸亮、May'n、松澤由美など共演やサポートを行っている。前記記載の経験を活かしギター奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
Char さんや StevieSalas なんかのカッティングフレーズや、僕が今までレコーディングしてきたフレーズなんかを紹介しつつトレーニングします！ミュートを上手く効かせてカッティングでギターソロなんかもやっていきます。					
<b>到達目標</b>					
カッティングをマスター					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	スタカートを鍛える				
2 回目	手刀の使い方を鍛える				
3 回目	手刀の使い方を鍛える				
4 回目	手刀の使い方を鍛える 2				
5 回目	手刀の使い方を鍛える 3				
6 回目	単音カッティング				
7 回目	歪みでカッティング				
8 回目	カッティングでギターソロ				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	スウィープピッキング研究所		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	数々のレコーディングやライブサポート、楽器メーカーの商品開発やデモ演奏での協力のほか、ギタリスト向け教則本も執筆。自身のバンド「ALHAMBRA」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ギター奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
スウィープピッキングのフレーズ作りや練習時のポイント、注意点などシンプルなものからより複雑なものまで、スウィープ漬けな内容です。					
<b>到達目標</b>					
スウィープピッキングのフレーズ作りや練習時のポイント、注意点などシンプルなものからより複雑なものまで学ぶ。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	2 本弦使用のスウィープフレーズ基本型・応用編				
2 回目	3 本弦使用のスウィープフレーズ基本型				
3 回目	3 本弦使用のスウィープフレーズ応用編				
4 回目	4 本弦使用のスウィープフレーズ基本型&応用編				
5 回目	5 弦使用のスウィープフレーズ基本型				
6 回目	5 弦使用のスウィープフレーズ応用編				
7 回目	6 型使用のスウィープフレーズ基本型				
8 回目	6 弦使用のスウィープフレーズ応用編				
9 回目	テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	チキンピッキングをマスターしよう！		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、講師に就任。いくつかのバンド活動を経て、現在は黒夢や青春、ROOTFIVE ほか、さまざまなアーティストのレコーディング、ライブなどに参加しセッションギタリストとして活動中。前記経験を活かし、ギター奏法を教える。				
<b>授業概要</b>					
チキンピッキングを基本から練習し、自分のフレーズに取り入れてみよう！					
<b>到達目標</b>					
チキンピッキングを自分のプレイに取り入れられるようにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	なぜチキンピッキングをするのか？メリットを考えよう。				
2 回目	オクターブのインターバルをチキンで弾いてみよう！				
3 回目	様々なリズムでチキンピッキングを使えるようになろう！				
4 回目	開放弦とチキンピッキングを組み合わせフレーズを弾いてみよう！				
5 回目	薬指も取り入れて、和音を弾いてみよう！				
6 回目	ペントニックのフレーズを弾いてみよう。				
7 回目	チキンピッキングを使用したバックング 1。				
8 回目	チキンピッキングを使用したバックング 2。				
9 回目	アドリブ実技テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	トータルロックスタイルギター（ベーシック）		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分（1 単位時間 45 分）	年間授業数	9 回（18 単位時間）	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	数々のレコーディングやライブサポート、楽器メーカーの商品開発やデモ演奏での協力のほか、ギタリスト向け教則本も執筆。自身のバンド「ALHAMBRA」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ギター奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
Rock な内容を軸にギターを弾く上でのテクニックを基礎から学んでいく。（自分の弾き方を見直したい、基礎をしっかり固めたいと思っている方にオススメです。）					
<b>到達目標</b>					
Rock な内容を軸にギターを弾く上でのテクニックを基礎から学ぶ					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	チューニングテクニック				
2 回目	ピッキング（ストローク）トレーニング（リズムの種類）				
3 回目	ピッキング&フィンガリングトレーニング（クロマチック）				
4 回目	ピッキング&フィンガリングトレーニング（ブルーススケール）				
5 回目	ピッキング&フィンガリングトレーニング（H&P 含む）				
6 回目	リフ（単音スライド含む）				
7 回目	リフ（コードストローク）				
8 回目	まとめ				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	トータルロックスタイルギター II		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	数々のレコーディングやライブサポート、楽器メーカーの商品開発やデモ演奏での協力のほか、ギタリスト向け教則本も執筆。自身のバンド「ALHAMBRA」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ギター奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
トータルロックスタイルギターの続き。基礎を踏まえての奏法をしっかりと身に付けていく。※自分の弾き方を見つけていくのが目標です。					
<b>到達目標</b>					
基礎を踏まえての奏法をしっかりと身に付け、自分の弾き方を見つけていく					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ピッキング&フィンガリングトレーニング (コードトーン) Mコード・ドリアン				
2 回目	ピッキング&フィンガリングトレーニング (ドリアンスケール)				
3 回目	ピッキング&フィンガリングトレーニング (ドリアンスケール)				
4 回目	リフ (So cold/L.H)				
5 回目	リフ (Had enough/L.H) (プリング強化)				
6 回目	リフ A7 (D.C) 16beat (オブリ/プリング含む)				
7 回目	リフ (Portrait/L.H) (オブリ/早弾き)				
8 回目	まとめ				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	トリッキーフレーズ		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、講師に就任。いくつかのバンド活動を経て、現在は黒夢や青春、ROOTFIVE ほか、さまざまなアーティストのレコーディング、ライブなどに参加しセッションギタリストとして活動中。前記経験を活かし、ギター奏法を教える。				
<b>授業概要</b>					
様々な奏法を使用したトリッキーなフレーズを紹介し弾いてみる。開放弦を含んだフレーズ、長いスライドを含むフレーズ、タッピング、ノイズなど。					
<b>到達目標</b>					
様々な奏法を使用したトリッキーなフレーズを身に付ける					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	フレーズの紹介。STEVE VAI、JOE SATRIANI など。				
2 回目	開放弦を含んだフレーズを弾こう。音程差を生むフレーズ。				
3 回目	タッピングを弾いてみよう 1 : VAN HALEN 風。タッピングを弾いてみよう 2 : STEVE VAI 風。				
4 回目	長いスライドを含むフレーズ。ポリリズムを含んだフレーズ。				
5 回目	ハーモニクスを含んだアルペジオ。				
6 回目	スキッピングを含んだフレーズ 1・2				
7 回目	簡単なスウィープも取り入れて弾いてみよう！				
8 回目	アドリブの中にトリッキーなフレーズを組み込んでみよう！				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	リズムカルギター		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、講師に就任。いくつかのバンド活動を経て、現在は黒夢や青春、ROOTFIVE ほか、さまざまなアーティストのレコーディング、ライブなどに参加しセッションギタリストとして活動中。前記経験を活かし、ギター奏法を教える。				
<b>授業概要</b>					
リズムを良く理解し、リズムカルにギターを弾くための授業です。バックングからソロまで幅広くやります。休符や様々な音符を含んだフレーズを弾く事で、リズムに強くなる事が目的です。					
<b>到達目標</b>					
リズムを良く理解し、リズムに乗ってギターを弾ける様になり、リズムに強くなる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	音符の種類。長い音符から弾いてみよう！				
2 回目	4 分音符、8 分音符を弾いてみよう。ロックなリフで弾いてみよう。				
3 回目	16 分音符を弾いてみよう。カッティング。				
4 回目	シャッフルを弾いてみよう！跳ねる感覚を知ろう！				
5 回目	休符を理解しよう。8 分休符編。				
6 回目	休符を理解しよう。16 分休符編。				
7 回目	ポリリズム 1。				
8 回目	譜面を読み、実際に弾いてみよう。音を聞いて譜面にしてみよう！				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	集中力向上トレーニング		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、講師に就任。いくつかのバンド活動を経て、現在は黒夢や青春、ROOTFIVE ほか、さまざまなアーティストのレコーディング、ライブなどに参加しセッションギタリストとして活動中。前記経験を活かし、ギター奏法を教える。				
<b>授業概要</b>					
曲をプレイするにあたって、テクニックも大事だけど、もっと大事なのは集中力やセンスだったりすると思います。集中力の無さからミスは起きたりします。だらだら長い時間練習するより、効率的に練習したほうが色んな意味で近道。自分の性格からじっくり考えてみよう！！					
<b>到達目標</b>					
集中力やセンスを鍛える					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	自分の性格を自分で分析してみよう！				
2 回目	ミスするって事はどういう事か？集中力を維持できる様になろう。				
3 回目	アルペジオを持続して弾いてみよう！				
4 回目	スキッピングフレーズ 1				
5 回目	ピッキングの強弱とリズムに注意して弾いてみよう！				
6 回目	セクションの変わり目でのリズムに注意しよう 1				
7 回目	ギターを持たずに目と頭で弾いてみよう 1				
8 回目	まとめ。ミスも含めてギターを更に好きになれる様に。				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	裏!!!ウラ!!!!うら!!!		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Guitar Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	バンド「LONG SHOT PARTY」でデビュー。アニメ「NARUTO -ナルト- 疾風伝」のテーマソングなど、レコーディングやリリースを行う。現在は長澤まさみ、錦戸亮、May'n、松澤由美など共演やサポートを行っている。前記記載の経験を活かしギター奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
ひたすら裏拍を意識したリズムトレーニングです。オルタネイトうんぬん抜きにしてきちんと裏を感じれる事を目標にトレーニングしたいと思います。FUNK 等のカッティングの他に裏を強調する REGGAE や SKA のリズムや単音でのミュートカッティング等、色々なバックで裏を強調しながらのリズムトレーニングです。裏を制する物はリズムを制す!!!					
<b>到達目標</b>					
きちんと裏を感じられる事が目標。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	8 分ウラのカッティング				
2 回目	8 分ウラの単音カッティング				
3 回目	16 分ウラのカッティング				
4 回目	16 分ウラの単音カッティング				
5 回目	3 連のウラ				
6 回目	ピッキングを逆で				
7 回目	クリックをウラで				
8 回目	足をウラで				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Open Space Guitar		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース以外のコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	数々のレコーディングやライブサポート、楽器メーカーの商品開発やデモ演奏での協力のほか、ギタリスト向け教則本も執筆。自身のバンド「ALHAMBRA」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ギター奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
ギターコース以外の学生へ向けた基礎的ギターレッスン					
<b>到達目標</b>					
シンプルなコードを使用しての演奏及びノイズの発生やチューニングのズレに自身で気が付き修正する事が出来るようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ギター及びアンプ（エフェクターを含む）の仕組みを理解する。				
2 回目	ギターの状態を適切に保つ為の解説及びチューニング（調弦）方法。				
3 回目	押弦のコツとピッキングの解説。シンプルなコードを使って長短の響きを体感していく。				
4 回目	エクササイズを考慮した単音弾きとコードアルペジオ。				
5 回目	4 回目内容の素材を異なる音色で弾く事による発見とトレーニング。				
6 回目	パワーコードなど構成されたシンプルなりフを用いてブリッジミュートを習得していく。				
7 回目	ストロークをメインにした素材を用いて左手ミュートに重要性を確認していく。				
8 回目	6 回目、7 回目の複合練習。				
9 回目	ベンディングの練習及びその延長線にあるビブラートの練習。				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ギターコース以外いらっしゃ〜い！		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース以外のコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	高校卒業と同時にスタジオミュージシャン夫妻のローディーとなり、実技&楽典を学ぶ。若手バンドの楽曲や活動の面倒を見ながら、ソロヴォーカリストのバックバンドに自身のインストバンドでも活動中。前記 記載の経験を活かしギター奏法やアドリブ、アレンジの授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
ギターコース以外を対象にした、初歩のギター講座的レッスン。					
<b>到達目標</b>					
簡単なコードワークから簡単なソロが弾けるようになる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	受講生の状況確認				
2 回目	オープンコードの確認				
3 回目	バレーコード				
4 回目	色んな BEAT で弾く				
5 回目	ブルースの進行				
6 回目	メジャースケール				
7 回目	ペンタトニックスケールの抽出				
8 回目	コードとスケールの照らし合わせ				
9 回目	バックギタートとソロに分かれて合わせる				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ギター以外の為のギタークラス ver.1.0.1		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ギターコース以外のコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、自身のグループでの活動や、NAMM show Taylor guitars デモンストレーター、TEDx Tokyo ハウスバンドなどのライブ、レコーディングなどを行う。				
<b>授業概要</b>					
ギターを専攻していないギター科以外の学生向けギター演奏/奏法クラス。ピックを持つ、弦を押さえることに慣れる、パワーコード、オープンコードなど初歩的な弾き方を教える。					
<b>到達目標</b>					
パワーコード、オープンコードなどで簡単な曲を弾ける様にする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	初歩基礎エクササイズ。				
2 回目	パワーコード解説、弾き方、練習。基礎エクササイズ。				
3 回目	パワーコードで短いリフ練習。弦を押さえる事に慣れる。基礎エクササイズ。				
4 回目	パワーコードで曲を弾いてみる練習。基礎エクササイズ。				
5 回目	オープンコード解説、弾き方、練習。基礎エクササイズ。				
6 回目	簡単なオープンコードで短いコード進行練習。基礎エクササイズ。				
7 回目	少しづつオープンコードを増やしてコード進行練習。基礎エクササイズ。				
8 回目	更にオープンコードを増やしてコード進行練習。基礎エクササイズ。				
9 回目	オープンコードで曲を弾いてみる。基礎エクササイズ。				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	コンプとディレイで Mix		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Sound Creator Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	キーボードプレイヤー、レコーディングエンジニア、CM、ドラマの音源制作で活動中。「世の中のエフェクターはシンセのパラメータのバラ売り」という考えの音作りが根底にある。				
<b>授業概要</b>					
積極的な音作りのツールとしてのコンプの使い方と、あらゆるエフェクトの元であるディレイだけでどこまで Mix できるかという内容です。魔法のエフェクトのリバーブは禁止です。					
<b>到達目標</b>					
Delay と Comp で Mix の可能性を研究し、応用がきく音作りができるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	例えるならこういう MIX (実際に MIX してみた物を聴いてみよう)				
2 回目	REC された音は実はどういう音なのか?				
3 回目	Delay という物 (原理とパラメータの説明)				
4 回目	Delay から派生するエフェクトの紹介				
5 回目	Comp という物 (原理とパラメータの説明)				
6 回目	Comp で音の距離感がつくれるか?				
7 回目	楽器別 Comp/Delay の使用例・飛びものや SE 的な物を作ってみて MIX				
8 回目	実際に REC・MIX				
9 回目	課題の素材を MIX。提出				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	シンセサイザーの音研究		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Sound Creator Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	サウンドクリエイターコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	キーボードプレイヤー、レコーディングエンジニア、CM、ドラマの音源制作で活動 中。「世の中のエフェクターはシンセのパラメータのバラ売り」という考えの音作りが根底にある。				
<b>授業概要</b>					
様々な音が出るシンセですがプリセットサウンドでは「惜しい！」な場面や、音色によって弾きかたで損してる場面があるように思えます。欲しい音はどのパラメータを操作したらよいか。mix で音がどのように変わるか。それっぽい弾き方はどうすればよいか。オリジナル曲を作るなら音もオリジナルな音を出してみましょう					
<b>到達目標</b>					
目的に合った音色にたどり着く					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	オシレーター、フィルター、アンプフィルターの説明。同時に LFO での表現の仕方のデモンストレーション。				
2 回目	発振させる音の特徴、オシレーター VS サンプルでの音作りを比較。 さらに現在まで存在する音源方式の紹介。加算方式、減算方式、除算方式、ウェーブテーブルシンセ、PCM 方式、グラニューラシンセなど。				
3 回目	フィルターの表現で色々な楽器をシミュレートしてみる。限界はどこか考察。 さらに現存する楽曲の音色を作ってみる。				
4 回目	エフェクトの組み合わせであり得る音色は何か。 エフェクトの絶対性はこういった場面で必要なのか考察。				
5 回目	サンプラーについての歴史と有名な音色の紹介。サンプルの加工のやり方（ループも含む）。ビット数による音色の変化の紹介、その有利な点と不利な点を考察。				
6 回目	レイヤーサウンド、ハイブリッド音源の音色の必要性。 MIDI についての紹介も含め音色の MIX 要素がどこにあるか考察。				
7 回目	既存の曲のイントロなどで使われる音色を自分で再現してみる。各自持ち寄った曲でいいので、どのような音源方式なのか、あるいは所持してる音源で似た音があるか。その音色で EDIT するのにどこを触るのか。				
8 回目	前回の課題の結果を聴いてみる。どこが良いのか惜しいのか考えてみる。				
9 回目	前回の予備日として。スケジュールが進んでいけば個人的に衝撃を受けた音色を楽曲とともに紹介、再現。				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	3 連系		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
苦手な人が多い3連、シャッフル、6/8 拍子など、さまざまな3連系の楽曲を使用しトレーニングします。					
<b>到達目標</b>					
8ビート、16ビートや4拍子などと比較すると習熟度が不足しがちな、シャッフルや3連符及び3拍子について集中的にトレーニングし、そのクオリティを上げること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	シャッフルと3連符のトレーニング				
2 回目	2拍3連、4拍3連についてのトレーニング				
3 回目	6/8 拍子、12/8 拍子についてのトレーニング				
4 回目	Swing 16th についてのトレーニング				
5 回目	3拍子の様々なパルスについてのトレーニング				
6 回目	テンポの違いによるハネ方の変化について Straight⇄Swing のトレーニング				
7 回目	Jazz, Blues, Funk, Reggae など、様々なジャンルにおける Swing 感について				
8 回目	2 against 3, 3 against 2 のトレーニング				
9 回目	3 against 4, 4 against 3 のトレーニング				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Groove Writing～色々なスタイルのグルーブを作る う～		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	バークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントや CM 音楽も手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
楽曲のカッコ良さはリズムセクション (Dr, Bass, Gtr, Key) のグルーブにあり! Funk、R&B、Jazz、Bossa、Samba など授業毎に様々なグルーブアレンジを習得していきます。アレンジの引き出しを増やしたい方お待ちしております!					
<b>到達目標</b>					
様々なグルーブアレンジの習得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Review of Rhythm Section Arranging, Funk 1 ※授業前半 : ・ 実践のための宿題を毎回出し、譜面とシーケンスを添削。授業後半 : ・ 新たなトピックの説明・実例解説。・ 宿題提示				
2 回目	R&B, Soul				
3 回目	House & Techno, Hip Hop				
4 回目	Jazz				
5 回目	Bossa nova, Percussion groove				
6 回目	Samba				
7 回目	Mambo, Cha-Cha				
8 回目	Ska & Reggae				
9 回目	Project 提出				
評価方法	Project の提出、習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	JAZZ GUITAR Basic1		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	浅茅陽子、リューベン辻野、吉弘千鶴子、Sandip Bhattacharya など国内外の多数のアーティストと共演。Jazz を中心に多ジャンルで活動する一方、教則本の執筆も行う。				
<b>授業概要</b>					
JAZZ GUITAR への入門。JAZZ に必要なスケールやコード、JAZZ 理論、JAZZ スタイルのフレージング等、JAZZ GUITAR の基礎の習得。続編有！！					
<b>到達目標</b>					
JAZZ GUITAR の基礎の習得。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	JAZZ 理論の基礎 1				
2 回目	JAZZ 理論の基礎 2				
3 回目	JAZZ 理論の基礎 3				
4 回目	Major Key の II-V における IIm7 でのフレージング 1				
5 回目	Major Key の II-V における IIm7 でのフレージング 2				
6 回目	V7 におけるオルタード・スケールでのフレージング 1				
7 回目	オーグメントによるフレージング				
8 回目	Major Key の II-V でのフレージング例				
9 回目	復習と確認テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	JAZZ GUITAR Basic2		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	浅茅陽子、リュベン辻野、吉弘千鶴子、Sandip Bhattacharya など国内外の多数のアーティストと共演。Jazz を中心に多ジャンルで活動する一方、教則本の執筆も行う。				
<b>授業概要</b>					
JAZZ GUITAR “ Basic 1 ” の続編。JAZZ GUITAR への入門。JAZZ に必要なスケールやコード、JAZZ 理論、JAZZ スタイルのフレージング等、JAZZ GUITAR の基礎の習得。					
<b>到達目標</b>					
JAZZ GUITAR の基礎の習得。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	△7 アルペジオ・パターン				
2 回目	△7 アルペジオ・パターンをもとにした△7 コードでのフレージング				
3 回目	Major Key における I △7 でのフレージング				
4 回目	Minor Key の Two Five における II-7(♭5) でのフレージング				
5 回目	Minor Key における I - でのフレージング 1				
6 回目	Minor Key における I - でのフレージング 3				
7 回目	△7 アルペジオ・パターンの応用				
8 回目	Two Five One でのブルース・フィーリングによるフレージング				
9 回目	復習と確認テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Let's JAM !		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Tokyo 卒業後、バンドを中心に、アーティストのサポートやセッションなど精力的に活動している。				
<b>授業概要</b>					
楽器を弾くだけでコミュニケーションを取るのがセッション。色々なミュージシャンとコミュニケーションを取れるようにするために、ワンコードや簡単なコード進行のシーケンスを使ってベースラインやコード、ソロを弾いたりして一緒に上手になりましょう。					
<b>到達目標</b>					
ジャムセッションというと自由に好き勝手に演奏しているイメージですが、聴いてる人がその場のアドリブセッションとは思えない様なハイクオリティなジャムセッションができるように。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Jam セッションについての説明、マナーについて				
2 回目	ワンコードセッション①				
3 回目	ワンコードセッション②				
4 回目	2 セクションセッション①				
5 回目	2 セクションセッション②				
6 回目	ブルースセッション①				
7 回目	ブルースセッション②				
8 回目	定番曲セッション①				
9 回目	定番曲セッション②				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Let's なんちゃって JAZZ ♪		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Tokyo 卒業後、バンドを中心に、アーティストのサポートやセッションなど精力的に活動している。				
<b>授業概要</b>					
JAZZ の要素がある POPS や ROCK でのアプローチ、初歩的 JAZZ、必要な理論などをスタンダードジャズの名曲『All the Things you are』を使って学びます。					
<b>到達目標</b>					
ポップスやロックにはない考え方を学び、ジャズというジャンルの苦手意識をなくす。POPS や ROCK で JAZZ 的アプローチをできるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ジャズの説明、曲紹介。				
2 回目	伴奏 (ウォーキングベース) ①				
3 回目	伴奏 (ウォーキングベース) ②				
4 回目	伴奏 (コード) ①				
5 回目	伴奏 (コード) ②				
6 回目	ソロ (コードトーンフレーズ) ①				
7 回目	ソロ (コードトーンフレーズ) ②				
8 回目	ソロ (II-V-I フレーズ) ①				
9 回目	ソロ (II-V-I フレーズ) ②				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Melody Analysis～メロディー創り		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	パークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントや CM 音楽も手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
メロディー創りは作曲する上でもっとも大切な部分です。「良い!」とか「覚えやすい!」と感じさせる曲のメロディーには、聴き手にそう感じさせる秘密が隠されているのでしょうか?一緒に紐解いて、曲創りに取り入れて行きましょう!					
<b>到達目標</b>					
譜面を見て弾けるようになる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Introduction/曲創りにおけるメロディーの役割、メロディーを構成する要素				
2 回目	Melody Analysis1/小 motif				
3 回目	Melody Analysis2/中 motif				
4 回目	Melody Analysis3/セクションごとの motif(A-B)				
5 回目	Melody Analysis4/セクションごとの motif(A-B-C)				
6 回目	Melody Analysis5/motief development1				
7 回目	Melody Analysis6/motief development2				
8 回目	Melody Analysis7/Approach Tech				
9 回目	Test/授業範囲全般を使用した作曲 (メロディー譜・シーケンス) /Project 提出				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Mix Voice のつくり方		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	映画、テレビ、アニメ、CM などメディアに数々の作品に歌唱参加、楽曲提供。アーティストへ作詞提供、プロアマ問わず歌詞指導や音楽ディレクターとして関わる。前記経験を活かし、ヴォーカルの授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
Mix Voice とは、「地声と裏声を混ぜた声」という意味だけではなく、発声で使う声帯、声帯以外の筋肉を鍛え、共鳴や顔(ボーカリストは顔が楽器)で声を響かせ発声する、声の筋トレを行う。					
<b>到達目標</b>					
長い期間、何曲歌っても、何日続いて歌っても潰れないタフで強い声を作る。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	土台の低音域/ブレスの使い方①				
2 回目	土台の低音域/ブレスの使い方②				
3 回目	中音域①				
4 回目	中音域②				
5 回目	低音域から中音域①				
6 回目	低音域から中音域②				
7 回目	高音域				
8 回目	高音域/ファルセット				
9 回目	振り返りと総評				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Protools で DTM		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該 当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Tokyo (旧 MI Japan Tokyo) 卒。音楽制作会社を起業し代表に就任。現在、多岐にわたるジャンルのアーティストのレコーディングやライブ PA、ポストプロダクションに関わり、その手腕を発揮している。				
<b>授業概要</b>					
音楽の原盤制作に必要な作業工程を実際に進めながら身につけられるのがこの「ProTools で DTM」です。レコーディングスタジオでの業界標準 DAW「Pro Tools」を活用して音楽制作を学びます。作曲方法というより制作のアイデア・ヒントを 取り上げて、制作進行の手法と Pro Tools を 並行して学べる内容。これからレコーディングが増えるミュージシャンにはとてもプラスになる授業。					
<b>到達目標</b>					
ProTools で楽曲制作ができるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	オリエンテーション ～ 基本操作 授業の概要を説明。ProTools の基本操作のレクチャー。Drum の打ち込み作業				
2 回目	基本操作 ～ 作曲 基本操作を復習。Drum～コード～メロディの打ち込み作業。				
3 回目	作曲～アレンジ 打ち込んだコードのデータを元に他の楽器パートを作る。コードのボーシング、レンジ、リズムを考えながら自分のイメージにアレンジ。また、必要に応じてリファレンスを聴いて研究。				
4 回目	アレンジ～収録～編集 アレンジの方向性が決まったら必要な音声を収録。Gt や Ba は主にライン収録。Vo はマイク。				
5 回目	アレンジ～収録～編集 アレンジの方向性が決まったら必要な音声を収録。Gt や Ba は主にライン収録。Vo はマイク。				
6 回目	収録～編集～ミックス アレンジ・収録が進んだらミックスダウン。 基本的なバランスの取り方、ダイナミクスの調整、オートメーション操作。				
7 回目	収録～編集～ミックス アレンジ・収録が進んだらミックスダウン。 基本的なバランスの取り方、ダイナミクスの調整、オートメーション操作。				
8 回目	マスタリング ミックスダウン後、参加者の作品をマスタリング。曲間、ダイナミクス、音質の調整。書き出し作業。				
9 回目	マスタリング ミックスダウン後、参加者の作品をマスタリング。曲間、ダイナミクス、音質の調整。書き出し作業。				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Sound Counseling(サウンド カウンセリング)		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI Tokyo (旧 MI Japan Tokyo) 卒。音楽制作会社を起業し代表に就任。現在、多岐にわたるジャンルのアーティストのレコーディングやライブ PA、ポストプロダクションに関わり、その手腕を発揮している。				
<b>授業概要</b>					
収録・音声編集・ミックスダウンなど「サウンドエンジニアリング」について、週ごとに持って来てもらう学生自身の作品を題材にレクチャーしていきます。題材を持って来られない時は、「サウンドアナライズ」「耳コピ問題」「セッション練習用トラックの制作」など、講師の作業を見て学んでいくことで、大いにトレーニング(修行)の場になります。また、学生のレコーディング作業やスタジオでの疑問や聞きたいこと、やりたいことにも答えています。					
<b>到達目標</b>					
ProTools を実用レベルに。サウンドエンジニアリングを一通り知る。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	授業内容の説明と持ち寄る作品の担当週を決める。持参した作品があれば、セッションファイルを開いてレクチャーしていく。理想と現実のギャップを埋めていく。				
2 回目	学生が持参した作品を題材にレクチャー。理想と現状のギャップを埋めるために何が必要か実際に作業してみせていく。質疑応答。				
3 回目	学生が持参した作品を題材にレクチャー。理想と現状のギャップを埋めるために何が必要か実際に作業してみせていく。質疑応答。				
4 回目	学生が持参した作品を題材にレクチャー。理想と現状のギャップを埋めるために何が必要か実際に作業してみせていく。質疑応答。				
5 回目	学生が持参した作品を題材にレクチャー。理想と現状のギャップを埋めるために何が必要か実際に作業してみせていく。質疑応答。				
6 回目	学生が持参した作品を題材にレクチャー。理想と現状のギャップを埋めるために何が必要か実際に作業してみせていく。質疑応答。				
7 回目	学生が持参した作品を題材にレクチャー。理想と現状のギャップを埋めるために何が必要か実際に作業してみせていく。質疑応答。				
8 回目	学生が持参した作品を題材にレクチャー。理想と現状のギャップを埋めるために何が必要か実際に作業してみせていく。質疑応答。				
9 回目	学生が持参した作品を題材にレクチャー。理想と現状のギャップを埋めるために何が必要か実際に作業してみせていく。質疑応答。				
評価方法	サウンドエンジニアリングへの理解度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Tech House/Technoトラック作り中級		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	ギタリストとしての活動で得た豊富な音楽経験を基に現在は Psychedelic Trance アーティスト「CYLON」として国内外の大型フェスを中心に世界規模で活躍中。				
<b>授業概要</b>					
ヨーロッパを中心とした海外のクラブミュージックシーンにおいて、近年異常なほどの盛り上がりを見せている Tech House/Techno 系シーン。その Tech House/Techno 系トラックを自らの手で制作してしまおう！ 2020 年代の今を感じさせる、テキキーでグルヴィーなサウンドを出す為のコツを伝授。思わず身体が動きだす音を生み出すスキルを手に入れる！！クラブミュージックに興味がある生徒よ集え！					
<b>到達目標</b>					
初級編から一歩前進しワンコード・ワングルーブで構成される事の多い Techno トラックを如何にしてストーリー性を持たせるかを学び、スムーズな楽曲展開を表現出来るようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	世界的に著名な DJ 達のミックスを映像などで観聴し、最新の Techno ミュージックの音楽的傾向を学ぶ。				
2 回目	キックのオーディオサンプルとリバーブを活用したベース(的)音の技術の研究。他ジャンルでは全く使われる事のない特殊なスキルの会得。				
3 回目	ベーシックなベース音色やリズムパターン(フレーズ)以外のバリエーション学んだ上でプラグインシンセによる音作り及びリズムパターン制作を行う。				
4 回目	パーカッション等のワンショットのオーディオサンプルやワンショット・シンセ音とディレイやリバーブを組み合わせた飛び道具的な音を用い音のキャンパスの空間を構成する。				
5 回目	EQ プラグインによるミックスにおけるマスキング問題を解決する手法を学ぶ。				
6 回目	リファレンス曲を参考に初級編で作った 8 小節のループをもとに 16 小節で 1 セクション×3 の短い展開のストーリーを自作する。必要に応じプラグインシンセでの最新のサウンドデザインを深掘り。				
7 回目	前週の続き				
8 回目	提出された生徒自作のトラックをクラス全員で聴きながら講師がアドバイスを行う。				
9 回目	前週のまとめ				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Tech House/Technoトラック作りが初級		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1年次, 2年次, 研究科	
授業時間	90分 (1単位時間 45分)	年間授業数	9回 (18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	ギタリストとしての活動で得た豊富な音楽経験を基に現在は Psychedelic Trance アーティスト「CYLON」として国内外の大型フェスを中心に世界規模で活躍中。				
<b>授業概要</b>					
ヨーロッパを中心としたクラブミュージックシーン、近年では東京のクラブシーンにおいても、異常なほど盛り上がりを見せている TechHouse/Techno/Minimal 系シーン。昨今のオーバーグラウンド・シーンにおける EDM ブームに対する、アンダーグラウンドクラブシーンの解答ともいえるこの流れ。その Tech House/Techno/Minimal 系トラックを自らの手で制作しよう! 2020 年代の今を感じさせる、テッキーなサウンドを出す為のコツを伝授。思わず身体が動きだす音を生み出すスキルを手に入れる!! DT					
<b>到達目標</b>					
4 つ打ちエレクトロニック・ダンスミュージックとしての Tech House/Techno の基礎となる鳴りの良いキックとベースの音作りを基本として、このジャンルで必要とされる楽曲制作にまつわる技術を理解し身に付ける。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Tech House 及び Techno というジャンルにおける時代的背景やカウンターカルチャーとしてのシーンの成り立ちや音楽的特徴を学ぶ。ダンスミュージックの本質とは何か。				
2 回目	Audio Frequency Charts とスペクトラムアナライザーを使いながら、このジャンル特有のキック音の特徴をつかむ。キック音色選び・作り方を知る。				
3 回目	特有のベース音色やリズムパターン(フレーズ)を学んだ上でプラグインシンセによる音作りを行う。その前段階としてシンセサイザーの構造を理解する。				
4 回目	Hi-Hats 及び Snare の研究をしながらリズムキットの構成を学ぶ。聴く者が踊り出したいくなるグルーブとは何かを知りながら音楽の三大要素の内リズムを強調すべきダンスミュージックとしての背景。				
5 回目	グルーブを形成するシンプルなフレーズやワンショット・シンセ音の重要性。ウェーブテーブル・シンセの構造を深掘りし、複雑なモジュレーションによる特殊な音色作りを学ぶ。				
6 回目	シーケンス・フレーズが時間軸に添い刻々とフラクタルに音色変化してゆくことの重要性を学ぶ。Tech House 及び Techno におけるグルーブと恍惚感の醸成。				
7 回目	既存のアーティストのトラックからリファレンス曲を自分で選び、その楽曲のピークとなるセクションを参考に 8 小節のループを自作する。				
8 回目	前回に引き続き、既存のアーティストのトラックからリファレンス曲を自分で選び、その楽曲のピークとなるセクションを参考に 8 小節のループを自作する。				
9 回目	自作の 8 小節ループ・トラックをクラス全員で聴きながら講師がアドバイスをを行う。				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	The 初見訓練		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
スタジオミュージシャンになる為の初見演奏を訓練する授業。初見能力を鍛える授業です。各パート、譜面を読んで演奏します。各パート、それぞれ簡単な譜面を初見でアンサンブルします。					
<b>到達目標</b>					
初見演奏					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	初見について				
2 回目	現場の譜面とは？				
3 回目	コード譜を読む 1				
4 回目	音符を読む 1				
5 回目	コード進行を読む 1				
6 回目	実践初見演奏 1				
7 回目	実践初見演奏 2				
8 回目	実践初見演奏 3				
9 回目	復習 & 初見テスト				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	アニソン・アイドル系サウンドの作り方		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、T V、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
アニソン・声優系・アイドル系・ゲーム系等のサウンドメイキングには、流行も意識する必要もありますが、コツがあります。作曲以降のアレンジ（コード進行、シンセ、リズム等）のノウハウを全て実際に使われたデータを元にして解説・伝授します。DTM ができなくても OK！					
<b>到達目標</b>					
実際のノウハウや経験談を参考にして、自作曲のアレンジ計画に役立てるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	声優アイドル系、アップテンポ				
2 回目	声優アイドル系、バラード				
3 回目	グループアイドル、アップテンポ				
4 回目	CM 楽曲、アコースティック				
5 回目	韓国アイドル、R&B 系				
6 回目	アニメ系、EDM 系				
7 回目	ゲームアニメ系、電波系アップテンポ				
8 回目	アイドルソロ、R&B 系				
9 回目	グループアイドル、シティポップ				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	キーボードパート制作		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	大学在学中から Beer Hall でのエレクトーン演奏のほか、結婚式場のオルガン奏者の仕事などを始める。大学卒業後 MI Hollywood に短期留学。帰国後、バックミュージシャン・講師として活動中。お台場合衆国『ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010』The Rootless、アカラ 10 周年記念コンサート「想望(ねがい)」アカラなどで演奏。				
<b>授業概要</b>					
オリジナルの曲にキーボードパートを入れていきます。 それぞれが持ち寄った曲に色々なアイデアを出していこう！					
<b>到達目標</b>					
オリジナルソングにキーボードパートを作って入れられるようにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	オリジナルソング 1 コードをみてピアノパートを入れる				
2 回目	オリジナルソング 2 音圧を出す為にどの音色でどんなフレーズを入れるか考える 宿題で各自パートを決め、その音色にあったフレーズを作ってくる				
3 回目	ソング 2 に各自持ち寄ったパートを入れて変化を聞く。音のぶつかりや音色とフレーズの組み合わせを考える				
4 回目	オリジナルソング 3 作曲者が欲しい音色を決める。宿題で各自パートを決め、その音色にあったフレーズを作ってくる				
5 回目	ソング 3 に各自持ち寄ったパートを入れて変化を聞く。音のぶつかりや音色とフレーズの組み合わせを考える				
6 回目	オリジナルソング 4 作曲者が欲しい音色を決める。 宿題で各自パートを決め、その音色にあったフレーズを作ってくる				
7 回目	ソング 4 に各自持ち寄ったパートを入れて変化を聞く。音のぶつかりや音色とフレーズの組み合わせを考える				
8 回目	お題（コード進行と音色）を決めて、ライブでキーボード演奏することを想定してパート制作をする				
9 回目	お題（コード進行と音色）を決めて、ライブでキーボード演奏することを想定してパート制作をする				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	周波数トレーニング		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	キーボードプレイヤー、レコーディングエンジニア、CM、ドラマの音源制作で活動中。「世の中のエフェクターはシンセのパラメーターのバラ売り」という考えの音作りが根底にある。				
<b>授業概要</b>					
丸い音や硬い音、現場では色々な要望が出てきます。可聴周波数帯を思いのままに操り、それぞれの周波数を覚えます。そうすると視覚ではなく、自分の耳を信じる事ができるようになります。レコーディング、PA はもちろん、作曲、アレンジなどにも役立ち、エンジニアとしてプロデューサーとしても知っている就非常役に立ちます。					
<b>到達目標</b>					
可聴周波数帯を思いのままに操るために、それぞれの周波数を覚える					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	基本周波数帯の楽器の説明、2MIX の音源で確かめる。				
2 回目	マルチで録られた音で各トラックの EQ 実習				
3 回目	音作りとアレンジの関係について				
4 回目	前回の話をマルチで確かめる。				
5 回目	モニターの特徴 (ラジカセ、スタジオモニター、ヘッドホン)				
6 回目	サウンドアナライザーなどで各自もってきた音源を検証				
7 回目	前回の音源がオリジナルであれば EQ のポイントなど				
8 回目	わざと悪い EQ された音源に対してどう思うか				
9 回目	復習と確認テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	スタイル別バックिंग		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	<p>大学在学中から Beer Hall でのエレクトーン演奏のほか、結婚式場のオルガン奏者の仕事などを始める。大学卒業後 MI Hollywood に短期留学。帰国後、バックミュージシャン・講師として活動中。お台場合衆国『ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010』The Rootless、アカラ 10 周年記念コンサート「想望(ねがい)」アカラなどで演奏。</p>				
<b>授業概要</b>					
<p>Latin, Blues, Gospel, etc... 各スタイルのバックング例を学びましょう。2 週 1 パターンくらいで色々なスタイルのバックングを紹介し練習します。毎週参考資料を配布。時間があれば他の Key に移した練習もします。</p>					
<b>到達目標</b>					
各スタイルのバックング例を学ぶ。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ファンク 1				
2 回目	ファンク 2				
3 回目	ゴスペル 1				
4 回目	レゲエ 1				
5 回目	シャッフル 1				
6 回目	ボサノバ 1				
7 回目	ラテン 1				
8 回目	ラテン 2				
9 回目	テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	スラップベース入門		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
スラップ初心者のための入門講座					
<b>到達目標</b>					
スラップの基本動作、サム&プルの習得。簡単なオクターブパターンや一発モノが弾けるように。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	振り抜き型とバウンド (アタック) 型の違い。				
2 回目	サムの基本練習 (3、4 弦のみ)				
3 回目	プルの基本練習 (1、2 弦のみ)				
4 回目	開放弦を使ったサムとプルのパターン				
5 回目	オクターブ基本パターン。				
6 回目	開放弦を使ったオクターブパターン				
7 回目	右手ゴーストノートフレーズ。				
8 回目	スラップにおける音価のコントロール				
9 回目	有名基本フレーズ練習				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ゼロから始めるベースラインの作り方		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	ベーシスト/ヴォーカリストとして自身のバンド竜理長などで活動。また渡り廊下走り隊など、楽曲提供も多数。サポート・ミュージシャンとして大槻ケンヂ、DIAMOND☆YUKAI などをサポート。またベース教則本も執筆する。				
<b>授業概要</b>					
ベースラインを自分で作れるようにしていきます。DTM や弾き語りのピアノの左手を工夫したい人でも、勿論オーケー。知識ゼロからやっていきます。					
<b>到達目標</b>					
コードトーンは勿論の事、経過音、導音などの横の流れ、同時に楽曲が要求するビート感(縦線)を意識したベースラインを作れるようにすること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	既存の楽曲のベースラインをアナライズして、各音符の意味を考えていく。				
2 回目	コードトーンやノンコードトーンがどのように使われているのかを意識する。				
3 回目	経過音や導音(リーディングトーン)がどのように使われているのかを意識する。				
4 回目	バスドラムとのコンビネーションでどのようなビートが作られているかを意識する。				
5 回目	指弾き、ピック弾き、スラップのどの奏法が何故選択されたのかを考察する。				
6 回目	5 回目までの考察を生かして、実際に自分でベースラインを作ってみる。				
7 回目	5 回目までの考察を生かして、実際に自分でベースラインを作ってみる。				
8 回目	5 回目までの考察を生かして、実際に自分でベースラインを作ってみる。				
9 回目	5 回目までの考察を生かして、実際に自分でベースラインを作ってみる。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	パーカッション I		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	米国 MI 卒。サポート演奏、楽曲提供、リズムワークショップなどの活動を行う。共演で Ben E King、ビリーバンバン、コニー、竹下景子ほか多数。後進の指導にも長年たずさわっている。				
<b>授業概要</b>					
打楽器（コンガ、ボンゴ、ティンバレス、シェーカー、タンバリン、スルド、カホン、ドラム）の演奏をする。各楽器の説明と実技。リズムアンサンブルについて学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
パーカッションの演奏方法を身に着ける。リズムアンサンブルを理解する。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ラテンパーカッション紹介 マラカス、コンガの基礎				
2 回目	クラベの理解、チャチャチャのアンサンブル				
3 回目	ボンゴ、ティンバレス、ギロの練習				
4 回目	ボレロ、マンボのリズムアンサンブル				
5 回目	サンバの歴史について シェーカー、スルドの練習				
6 回目	タンボリン、トライアングル、アゴゴの練習				
7 回目	サンバアンサンブル				
8 回目	ポップスでのタンバリン、シェーカーの練習、カリブソのリズム紹介				
9 回目	ポップス、R&B におけるコンガやボンゴのフレーズ				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	パーカッションⅡ		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1年次, 2年次, 研究科	
授業時間	90分 (1単位時間 45分)	年間授業数	9回 (18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	米国 MI 卒。サポート演奏、楽曲提供、リズムワークショップなどの活動を行う。共演で Ben E King、ビリーバンバン、コニー、竹下景子ほか多数。後進の指導にも長年たずさわっている。				
<b>授業概要</b>					
打楽器（コンガ、ボンゴ、ティンパレス、シェーカー、タンバリン、スルド、カホン、ドラム）を使用して Jam。Jam をすることでパーカッションの演奏を自然に身に着けよう！ みんなで叩こう！					
<b>到達目標</b>					
Jam を通じて、リズムアンサンブルを理解し、パーカッションの演奏方法を修得する					
<b>授業計画・内容</b>					
1回目	ラテンパーカッション紹介 マラカス、コンガの基礎				
2回目	クラベの理解、チャチャチャのアンサンブル				
3回目	ボンゴ、ティンパレス、ギロの練習				
4回目	ボレロ、マンボのリズムアンサンブル				
5回目	サンバの歴史について シェーカー、スルドの練習				
6回目	タンボリン、トライアングル、アゴゴの練習				
7回目	サンバアンサンブル				
8回目	ポップスでのタンバリン、シェーカーの練習、カリブソのリズム紹介				
9回目	ポップス、R&B におけるコンガやボンゴのフレーズ				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ピアノを生かすアレンジテクニック		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、T V、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
ピアノやエレピを生かしたアレンジのテクニックを DAW 画面を見ながら多数紹介し、演習問題を通して身につけることを狙いとする。バックギンパターン、音色の選び方、エフェクトの側面、音楽理論などの多数の側面からアレンジテクニックを解説する。					
<b>到達目標</b>					
数多くのアレンジテクニックを一つ一つ確実に身につけるようになること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	基本知識 (音色、ペダル、歌との相性、エレピの種類) DTM 基本 (MIDI データ・Audio データ扱い)				
2 回目	ピアノボイシング カノン進行におけるボイシング & テンションノート				
3 回目	バックギンパターン (1) 1625 進行、POPS アレンジ実習				
4 回目	バックギンパターン (2) 2516 進行、JAZZ アレンジ実習				
5 回目	オブリ&EQ アイドル曲におけるオブリの解説とフレーズ実習				
6 回目	単旋律ピアノ シーケンスリフピアノ、リリースカットピアノ、ミニマル多重録音				
7 回目	ピアノ音色バリエーション (1) ピアノとのレイヤー音色、単音ディレイ系				
8 回目	ピアノ音色バリエーション (2) リバーブピアノ、サンプラーテクニック				
9 回目	ピアノインスト曲の考え方とプログラミングテクニック ピアノ音源プラグイン紹介				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ファンクベースの教科書		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	Soul/Funk、Rock、Jazz/Fusion から演歌までジャンルにとらわれないステージ、レコーディング、サポート、またミュージカルのバンドマスターも務める。ベースマガジンでは 27 年に渡り、奏法解説等を連載、また教則本も『プロ・ベーシストに近づくためのメソッド集』『プロとアマを分けるミュート技術』『ファンク・ベースの教科書』などピック弾き、スラップ、5 弦ベース等の専門書など多数執筆、海外でも発売している。				
<b>授業概要</b>					
ベースが最も重要な役割をし、やりがいのある音楽がファンクミュージックだ。このファンクの歴史、奏法の発展を学び、より深くファンクを楽しく理解できるようにする。					
<b>到達目標</b>					
様々なファンク・スタイルを体で覚え、リズムカルでグルーヴ感あふれるプレイを習得する。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	タッチ&リズムカルなピッキングをタッチ・ミュート、チャッキングを使いプレイする。				
2 回目	ファンクの元祖であるジェームス・ブラウンのファンクの仕組みを理解する。				
3 回目	多様な文化が交差するサウスエリアのファンクをミーターズなどのニューオーリンズ・ファンク、セカンドライン・ファンクを理解する。				
4 回目	オリジナリティあふれる発想力と豪快さを備えたミッドウエスト・ファンクを P = FUNK、スレイヴを中心に研究する。				
5 回目	多様な音楽スタイルが混じり合う人種の坩堝、イーストコースト・ファンクではキャメオ、ファット・バック・バンド、ワシントン D.C 発祥の GO-GO とはどのようなものなのか？ 代表格であるチャック・ブラウンの FUNK を研究する。				
6 回目	クリエイティヴ&ハイブリッドの研鑽、ウエストコースト・ファンクをスライ&ザ・ファミリー・ストーン、タワー・オブ・パワー、グラハム・セントラル・ステーションなどのポリリズム的なベイエリア・ファンクを研究する。				
7 回目	マイケル・ジャクソン、シック、シャラマーなどのディスコ、ブラック・コンテンポラリー・ミュージックから、より踊れるリズム・パターンを研究する。				
8 回目	プリンスなどのミネアポリス・ファンクを研究する。				
9 回目	ネオソウルや新世代ファンクを研究する。				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	プレイヤーのためのコーラス講座		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ベーシスト/ヴォーカリストとして自身のバンド竜理長などで活動。また渡り廊下走り隊など、楽曲提供も多数。サポート・ミュージシャンとして大槻ケンヂ、DIAMOND☆YUKAI などをサポート。またベース教則本も執筆する。				
<b>授業概要</b>					
コーラスを入れられれば、バンドやアンサンブルに「オープンハーモニー」を足す事も出来ますし、平均律では無い、純正調の響きを加える事も出来ます。特に減衰楽器ばかりのロック・バンドに於いては「声」と言うツールを使う事で可能性は大きく広がります。					
<b>到達目標</b>					
コーラスで自分のバンドを盛り上げる方法を学ぶ					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	コーラスの種類、音域や音程などの話、オープンとクローズのハーモニー、2 声のハーモニーから、3 声、4 声に至るまでの積み方、録音する時の注意等				
2 回目	平均律と純正調の違いを、倍音の知識と絡めてある程度理解。「字ハモ」（いわゆる、メインのメロディにハーモニーを付けて行く）の中で色々と考えてみる				
3 回目	オープンとクローズのハーモニーの良い点、悪い点を考える。				
4 回目	ダブル・トラックにする事の利点。コーラス効果について。「どこまで音を伸ばすか」「どこで息を継ぐのか」、発音の問題も検証。				
5 回目	ウーアー・コーラス（メインのメロディとは違う、独立したコーラス）について。				
6 回目	ユニゾンのシャウト。音程の無いシャウトの効果がある場面について				
7 回目	レコーディングにおけるコーラスのテクニック。大人数でコーラスをする時の注意。ディレクションのシミュレート。				
8 回目	ミックス時のコンプとイコライジングについての紹介				
9 回目	復習と実技テスト				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	フレーズ 12Key		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	大学在学中から Beer Hall でのエレクトーン演奏のほか、結婚式場のオルガン奏者の仕事などを始める。大学卒業後 MI Hollywood に短期留学。帰国後、バックミュージシャン・講師として活動中。お台場合衆国『ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010』The Rootless、アカラ 10 周年記念コンサート「想望(ねがい)」アカラなどで演奏。				
<b>授業概要</b>					
フレーズをすべての Key で練習して、ソロのネタの一部にしていこう。					
<b>到達目標</b>					
各フレーズ をどのキーでも弾けるように、またそれらがソロ中に自然に出てくるように、自分のフレーズになるまで体に染み込ませること。余裕のある人はコードヴォイスングとともに弾けるようになること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	フレーズ 1 (ドミナント 7)				
2 回目	フレーズ 1 (ドミナント 7)				
3 回目	フレーズ 2 (オルタード) /フレーズ 1 の復習				
4 回目	フレーズ 2 (オルタード) /フレーズ 1 の復習				
5 回目	フレーズ 2 (オルタード) /フレーズ 1 の復習				
6 回目	フレーズ 3 (Ⅲm-VI7-Ⅱm-V7) /フレーズ 2 の復習				
7 回目	フレーズ 3 (Ⅲm-VI7-Ⅱm-V7) /フレーズ 2 の復習				
8 回目	フレーズ 3 (Ⅲm-VI7-Ⅱm-V7) /フレーズ 2 の復習				
9 回目	フレーズ 3 (Ⅲm-VI7-Ⅱm-V7) /フレーズ 2 の復習				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	メロのコード付け講座		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、T V、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
メロディーにコードをつける練習です。ギターのリフ、ボーカルの鼻うた等にコードをつけてみよう。					
<b>到達目標</b>					
オリジナル制作やリハモアレンジの際に役立てる知識を身につける。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	コードの覚え方				
2 回目	「春が来た」				
3 回目	「ちょうちょう」				
4 回目	「春の小川」				
5 回目	「線路は続くよどこまでも」 セカンダリドミナント				
6 回目	「赤い靴」 マイナーダイアトニック				
7 回目	「月の沙漠」 マイナーダイアトニック				
8 回目	「上を向いてあるこう」				
9 回目	その他インスト曲など実習				
評価方法	コードの理解度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	リズムトレーニング		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	<b>実務経験のある教員による授業科目</b> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	大学在学中から Beer Hall でのエレクトーン演奏のほか、結婚式場のオルガン奏者の仕事などを始める。大学卒業後 MI Hollywood に短期留学。帰国後、バックミュージシャン・講師として活動中。お台場合衆国『ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010』The Rootless、アカラ 10 周年記念コンサート「想望(ねがい)」アカラなどで演奏。				
授業概要					
シンコペーションが苦手な人、カウントをとりながら歌えない、弾けない人集まれ！					
到達目標					
16 分音符が入ったリズムパターンを 4 分音符をキープしながら演奏できるようになる					
授業計画・内容					
1 回目	16 分音符を含むリズムパターンの種類の説明、各パターンを歩きながら演奏 (手拍子) 16 分のシャッフルの曲に合わせて 2、4 拍 (できる人は 16 分裏) で手拍子				
2 回目	アクセントの位置をずらして各パターンを演奏 16 分のシャッフルの曲に合わせて 2、4 拍 (できる人は 16 分裏) で手拍子				
3 回目	16 分音符のキメの練習 (シンコペーション有り) 16 分のシャッフルの曲に合わせて 2、4 拍 (できる人は 16 分裏) で手拍子				
4 回目	16 分音符のキメの練習 (シンコペーション有り) 16 分のシャッフルの曲に合わせて 2、4 拍 (できる人は 16 分裏) で手拍子				
5 回目	テンポキープが出来るかのテスト 16 分のシャッフルの曲に合わせて 2、4 拍 (できる人は 16 分裏) で手拍子				
6 回目	16 分音符のキメの練習 (シンコペーション有り) 6/8 の曲に合わせて 2 個目、3 個目に手拍子				
7 回目	16 分音符のキメの練習 (休符有り) 6/8 の曲に合わせて 2 個目、3 個目に手拍子				
8 回目	16 分音符のキメの練習 (休符有り) 16 分音符のシンコペーションのリズムパターンと 2 拍 3 連のパターンを交互に手拍子 6/8 の曲に合わせて 2 個目、3 個目に手拍子				
9 回目	16 分音符のキメの練習 (休符有り) 16 分音符のシンコペーションのリズムパターンと 2 拍 3 連のパターンを交互に手拍子 6/8 の曲に合わせて 2 個目、3 個目に手拍子				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	レコーディングチャレンジ!		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Tokyo (旧 MI Japan Tokyo) 卒。音楽制作会社を起業し代表に就任。現在、多岐にわたるジャンルのアーティストのレコーディングやライブ PA、ポストプロダクションに関わり、その手腕を発揮している。				
<b>授業概要</b>					
参加学生で課題曲を決定の上、歌・演奏をレコーディング。毎回「エンジニア」「プレイヤー」「ディレクター」「アシスタント」「アレンジャー」など「役回り」を決め、実際の制作現場と同様に実習をおこないます。作業現場での作業進行、コミュニケーションの取り方、収録手法などを様々な楽器パートの収録編集作業において経験を積み学んでいきます。					
<b>到達目標</b>					
レコーディング作業におけるそれぞれの役割でのワークフローを理解する					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	オリエンテーション(課題曲選定、収録準備)				
2 回目	課題曲 A(Vo 収録)				
3 回目	課題曲 B(Dr 収録)				
4 回目	課題曲 B(Ba 収録)				
5 回目	課題曲 B(Gt 収録～編集)				
6 回目	課題曲 C(Gt 収録～アレンジ～編集)				
7 回目	課題曲 C(Vo 収録～編集～ミックス)				
8 回目	課題曲 D(Vo 収録～編集)				
9 回目	課題曲 D(ミックス)				
評価方法	ワークフローの理解度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	歌詞カード、構成譜など収録に必要な資料を都度配布				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	レコーディングラボラトリー（録音研究所）		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分（1 単位時間 45 分）	年間授業数	9 回（18 単位時間）	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Tokyo（旧 MI Japan Tokyo）卒。音楽制作会社を起業し代表に就任。現在、多岐にわたるジャンルのアーティストのレコーディングやライブ PA、ポストプロダクションに関わり、その手腕を発揮している。				
<b>授業概要</b>					
ドラム・ベース・ギター・ヴォーカル・ナレーションなど色々な楽器や音声をマイクの位置・距離・数などを変えながら様々なアプローチで収録。その録音記録と作業経験を自分自身の力にしてい「研究所」、それが「レコーディングラボラトリー」です。自分の制作作業をグレードアップさせたい人、音の仕組みを勉強したい人みんな集まれ！！					
<b>到達目標</b>					
いろいろな楽器や音声をマイクの位置・距離・数などを変えながらさまざまなアプローチで収録し、その録音記録と作業経験を自分自身の力にいく					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	準備・ナレーション（マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）				
2 回目	スネアドラム（マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）				
3 回目	バスドラム（マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）				
4 回目	ドラムセット 1（マイク 1 本と 2 本を聞き比べる。マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。）				
5 回目	ドラムセット 2（マルチマイキングで立ててみる）				
6 回目	アコースティックギター（マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）				
7 回目	ギターアンプ 1（クリーン・ドライブ・クランチ・ラインの 4 種類のサウンドを収録。マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。）				
8 回目	ベースアンプ（ライン・マイクの 2 種類を収録。マイクの位置・角度を変えてみる。マイクの種類を聞き比べる。マイクの数を変えてみる）				
9 回目	テスト：レコーディングの一連の作業を一人で行う実技試験				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ワールドパーカッション 1		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	米国 MI 卒。サポート演奏、楽曲提供、リズムワークショップなどの活動を行う。共演で Ben E King、ビリーバンバン、コニー、竹下景子ほか多数。後進の指導にも長年たずさわっている。				
<b>授業概要</b>					
ポップス～エスニック～アフリカンレゲエなど少しマニアックなリズムも紹介する。					
<b>到達目標</b>					
パーカッションの演奏方法を身に着ける。ワールドミュージック、ポップスにおけるリズムアンサンブルを理解する。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	クラシックパーカッション、マーチ(シンバル、大太鼓、スネア)の紹介、練習				
2 回目	サンバ(スルドー、シェーカー、アゴゴ)の紹介、練習				
3 回目	サンバポップス(タンバリン、ドラムセット)の紹介、練習				
4 回目	R&B グルーヴ 1(ドラムセット、コンガ、カホン、タンバリン)の紹介、練習				
5 回目	R&B グルーヴ 2(ドラムセット、コンガ、カホン、タンバリン)の紹介、練習				
6 回目	カリブソ(コンガ、ボンゴ、カウベル)の紹介、練習				
7 回目	ブレナ ボンバ(コンガ、ボンゴ)の紹介、練習				
8 回目	タンゴ フラメンコ(カホン、カスタネット)の紹介、練習				
9 回目	アラブミュージック ダラブッカの紹介、練習				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	英語の歌は難しくない！		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業。幼少ときからミュージカルで舞台経験を積む。現在は ピアノの弾き語りライブやメジャーアーティストのバックコーラスなどを行っている。				
<b>授業概要</b>					
英語の歌ってただで拒否反応が出てしまう人、本当は歌ってみたいけどなんとなく難しそうだと思ってる人、ちょっとしたコツとやり方さえわかれば、ネイティブにも通用する歌に変わります。					
<b>到達目標</b>					
「英語で歌うのって難しい」という考えをなくす					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Introduction + 曲決め				
2 回目	英語で歌う時にありがちな勘違いについて				
3 回目	英語の歌詞を自分の言葉に直してみよう				
4 回目	Performance + Feedback①				
5 回目	日本国外の Artists の performance を見てみよう				
6 回目	英語で歌うときの groove, dynamics について				
7 回目	Second Performance + Feedback①				
8 回目	総復習				
9 回目	発表会				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	鍵盤入門～コード編～①		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	大学在学中から Beer Hall でのエレクトーン演奏のほか、結婚式場のオルガン奏者の仕事などを始める。大学卒業後 MI Hollywood に短期留学。帰国後、バックミュージシャン・講師として活動中。お台場合衆国『ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010』The Rootless、アカラ 10 周年記念コンサート「想望(ねがい)」アカラなどで演奏。				
<b>授業概要</b>					
こちらはコードを弾く練習。鍵盤を使ってコードを勉強すれば目で見て分かるので、ギターやベースの人も再確認できるよ。コードを覚えたら簡単な曲にもチャレンジしよう！初心者向け。					
<b>到達目標</b>					
譜面を見て弾けるようにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	1 曲目 譜読み				
2 回目	1 曲目 強弱、テンポなどを考えて				
3 回目	2 曲目 譜読み				
4 回目	2 曲目 強弱、テンポなどを考えて				
5 回目	3 曲目 譜読み				
6 回目	3 曲目 強弱、テンポなどを考えて				
7 回目	全曲復習				
8 回目	筆記テスト				
9 回目	レビュー				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	鍵盤入門～コード編～②		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	大学在学中から Beer Hall でのエレクトーン演奏のほか、結婚式場のオルガン奏者の仕事などを始める。大学卒業後 MI Hollywood に短期留学。帰国後、バックミュージシャン・講師として活動中。お台場合衆国『ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010』The Rootless、アカラ 10 周年記念コンサート「想望(ねがい)」アカラなどで演奏。				
<b>授業概要</b>					
コード編①の続き。コード編①ではトライアドを中心にルートポジションをまず習得し、その後転回形の作り方を勉強、それぞれ 12 個のコードを練習していく。②では①のトライアドから 1 音増やし、セブンスコードを練習していく。また、II - V - I という頻出度が高いコード進行で流れを習得していく。					
<b>到達目標</b>					
コードを見てすぐに構成音がわかるようにすること。また転回形を用いて弾けるようにすること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	①の復習				
2 回目	メジャー 7 th のコードの作り方を学び全てのキーで練習する (転回形を含む)				
3 回目	マイナー 7 th のコードの作り方を学び全てのキーで練習する (転回形を含む)				
4 回目	これまでの復習 (メトロノームに合わせてつまづかないように)				
5 回目	ドミナント 7 th のコードの作り方を学び全てのキーで練習する (転回形を含む)				
6 回目	II - V - I のコードネームを書き出す、それぞれのコードの練習				
7 回目	II - V - I のコード進行で 7 th のコードを練習 part1				
8 回目	II - V - I のコード進行で 7 th のコードを練習 part2				
9 回目	復習				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	鍵盤入門～基礎練編		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	<p>大学在学中から Beer Hall でのエレクトーン演奏のほか、結婚式場のオルガン奏者の仕事などを始める。大学卒業後 MI Hollywood に短期留学。帰国後、バックミュージシャン・講師として活動中。お台場合衆国『ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010』The Rootless、アカラ 10 周年記念コンサート「想望(ねがい)」アカラなどで演奏。</p>				
<b>授業概要</b>					
<p>鍵盤を弾きたいけど練習の仕方が分からない、指が動かない etc…。この授業ではひたすら基礎練習をします。初めての人はゆっくりから、鍵盤を弾いたことのある人はテンポを上げて練習しましょう！</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>簡単な曲を両手で弾けるようすると同時に譜面上で使われる記号や略語も学び身につける。</p>					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	<p>鍵盤上の C D E…と五線譜上 (ト音記号・ヘ音記号) の C D E…の一致 #、b を交えた単音の楽譜を鍵盤で弾く、簡単な Key の見つけ方</p>				
2 回目	<p>大譜表の曲① 右手・左手を分けての練習</p>				
3 回目	<p>大譜表の曲① 両手での練習</p>				
4 回目	<p>大譜表の曲① 発表</p>				
5 回目	<p>大譜表の曲② 右手・左手を分けての練習</p>				
6 回目	<p>大譜表の曲② 両手での練習</p>				
7 回目	<p>大譜表の曲② 発表</p>				
8 回目	<p>大譜表の曲③ 右手・左手を分けて練習、両手で練習</p>				
9 回目	<p>大譜表の曲①②③ 発表</p>				
評価方法	<p>習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)</p>				
使用教科書	<p>必要に応じて資料を配布。</p>				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	最先端の音を感じろ！ミドル・グルーヴ Psychedelic Trance 制作講座☆中級編		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	ギタリストとしての活動で得た豊富な音楽経験を基に現在は Psychedelic Trance アーティスト「CYLON」として国内外の大型フェスを中心に世界規模で活躍中。				
<b>授業概要</b>					
現在のトランスシーンでは世界的な潮流となっているミドルグルーヴ系の Psychedelic Trance。その名の通り派手すぎずダークすぎずバランスのとれた中間をいくシリアスなサウンドがシーンの最もカッチングエッジな音として、ヨーロッパや中南米そして日本を中心に大きなムーブメントを興している。国内はもとより海外でのリリースも豊富な講師が、トラックメイクの秘密を解き明かし制作のスキルを伝授！					
<b>到達目標</b>					
初級編から一歩前進し、基本的にはコード進行せずにアレンジされることが多いダンスミュージック・トラックを如何にしてストーリー性を持たせるかを学び、スムーズな楽曲展開を表現出来るようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	世界的に著名なアーティストのライブセット等を映像などで観聴きし、最先端の Psychedelic Trance ミュージックの音楽的傾向を学ぶ。				
2 回目	Audio Frequency Charts を用いキックとベースの周波数帯的特性を深掘りし、動きのあるベースラインの構築法を学ぶ。				
3 回目	シンプルながらフラクタルなフレーズやそれに伴う音色変化とは何か。このジャンルならではの特殊な制作技法を学ぶ。				
4 回目	3 回目で学んだ技法を用い生徒各自が実際に制作を行う。その際、楽曲の同セクション内で同時に鳴る別フレーズと同居させるための EQ テクニックを考察する。				
5 回目	リズムックでグルーヴを感じさせるシーケンスフレーズとは何か。エレクトロニックなダンスミュージックに必要なとされるグルーヴの根幹とフラクタルな音色変化を学ぶ。				
6 回目	楽曲のストーリー上で光を見せる短いメロディーとは何かを学び、参考フレーズや音色作りをもとに生徒各自が制作実践。				
7 回目	Psychedelic Trance のアレンジには欠かせない FX や Pluck 及び Stab 音の研究。				
8 回目	講師が実際にリリースした楽曲の制作で使用した Logic のプロジェクトファイルをリファレンスに 16 小節から 32 小節ほどの短い展開のストーリーを各生徒が自作アレンジする。				
9 回目	提出された生徒自作のトラックをクラス全員で聴きながら講師がアドバイスを行う。				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	作曲のための Harmony1～作曲を始めよう～		授業形態   必・選	講義	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	パークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントや CM 音楽も手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
作曲をしながら Harmony や理論を身に付けていきます。トピック毎に作曲しながら実践していくうちに、今まで自分が何気なく使っていたものや、好きなアーティストが使っていた「音」と出会うこともあります。しっかりと Harmony を勉強すれば、作曲のみならず編曲・演奏にも必ず役に立ちますし、貴方の可能性を広げてくれることでしょう。トピックをどんどん自分の音楽に取り入れ、イメージを音楽で表現することにおいて「自由」になりましょう！					
<b>到達目標</b>					
作曲をしながら Harmony や理論を身に付ける					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Introduction, Pentatonic scale, Blues form 曲創りとは、手軽な作曲法				
2 回目	Notation, key signature, time signature, Intervals 譜面の読み方、書き方 introduction				
3 回目	Major key1, Diatonic function1 Diatonic Scale, Chords(Triad, Tetrad)				
4 回目	Major key2, Diatonic function2 Harmonic analyze, functional analyze, 実践				
5 回目	Minor key1, Diatonic function3 Harmonic analyze, functional analyze, 実践				
6 回目	Minor Key2, Diatonic function4 Melodic minor, Harmonic minor				
7 回目	Secondary dominant1 Harmonic analyze, functional analyze, 実践				
8 回目	Secondary dominant2, Guidetone line 実践				
9 回目	テスト 筆記テスト、Project 提出				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	作曲のための Harmony2～Jazzy な作曲～		授業形態   必・選	講義	選択
	学則別表上表記	Style Selection I , II	年次	1 年次,2 年次、研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	パークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントや CM 音楽も手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
「作曲のための Harmony1 」に続き、作曲をしながら Harmony や理論を身に付けていきます。ここでは現在のポピュラー音楽に欠かせない Jazz 的な要素も採り上げます。どんどん自分の音楽に取り入れ、イメージを音楽で表現することにおいて「自由」になりましょう！					
<b>到達目標</b>					
「作曲のための Harmony1 」に引き続き作曲をしながら Harmony や理論を身に付ける					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Review,Tension① Harmony1 の復習、writing melody w/tension				
2 回目	Tension② Pno Voicing w/tension, Chord scale				
3 回目	Voice Leading①、BG line BG line w/tension				
4 回目	Modal interchange① Major key, Minor key の統合,Analyze				
5 回目	Modal interchange② Major key, Minor key の統合,実践				
6 回目	Voice Leading② Inversion,Pno voicing(w/chord tone)				
7 回目	SubV, Extended Dom① Analyze				
8 回目	SubV, Extended Dom② 実践				
9 回目	テスト, Project 提出				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	作曲のための Harmony3～より豊かな曲調～		授業形態   必・選	講義	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	パークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントや CM 音楽も手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
Harmony1・2 の続編として、作曲をしながら今まで習得した理論テクニックを統合します。またモードテクニックなどを学び曲調のバリエーションを豊かにしていきます。ここまで修了すると大抵のポピュラー音楽の Harmony は大方理解できると思います。トピックをどんどん自分の音楽に取り入れ、イメージを音楽で表現することにおいて「自由」になりましょう！					
<b>到達目標</b>					
Harmony1・2 の続編として、作曲をしながら今まで習得した理論テクニックを統合。モードテクニックなどを学んで曲調のバリエーションを豊かにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Review, Blues Chords, Diminished chords				
2 回目	Modal interchange				
3 回目	Deceptive Resolution				
4 回目	Mode① (Dorian, Phrygian), Bass pedal				
5 回目	Mode②(Mixolydian, Lydian)				
6 回目	Mode③(Modal interchange)				
7 回目	Modulation				
8 回目	Form				
9 回目	テスト, Project 提出				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	作曲のための Harmony4～実践編～		授業形態   必・選	講義	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	パークリー音楽大学で作編曲を学び、優秀賞を受けた後帰国。全国でミュージカルなど舞台音楽、また愛・地球博、高校総体総合開会式などのイベントや CM 音楽も手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
今まで習得した Harmony を使いながら引き続き作曲を実践していきます。更なるテクニックやメロディーライティングについても採り上げます。					
<b>到達目標</b>					
今まで習得した Harmony を使った作曲					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Review、Motife Development1				
2 回目	Motife Development2				
3 回目	Pedal、Ostinato				
4 回目	Constant Structure, Contiguous				
5 回目	UST				
6 回目	Compound chords1(hybrids)				
7 回目	Compound chords2(ambi chords)				
8 回目	Review				
9 回目	テスト, Project 提出				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	初めでのミックスダウン		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、T V、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
<p>作った曲の質感が良くなる経験はありませんか？最後のバランスをとる段階でエフェクトのかけ方がわからずに台無しになるケースは多々あります。楽曲制作には作曲・編曲・ミックスダウンという3本柱があります。作曲と編曲は独学でも可能ですが、ミックスダウンは技術的な知識が必要。EQ、コンプの意味、リバープの種類、音圧と音量の違い、定番のテクニック、などなど。初心者向けにミックスダウンに関する知識を習得してもらいます。</p>					
<b>到達目標</b>					
ミックスダウンの基礎を身につけてベーシックなバランスをとれる技術を習得する。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Mix の基礎、音源比較				
2 回目	トラックのまとめ方、bus、aux				
3 回目	EQ				
4 回目	Reverb				
5 回目	Compressor				
6 回目	Limiter、ピッチ補正				
7 回目	実習 1				
8 回目	実習 2				
9 回目	実習 3				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	初めての作曲		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、T V、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
コード進行の組み立て方やメロディに対する和音の付け方を学び、実際に DAW ソフトでの楽曲制作、作曲を行っていきます。					
<b>到達目標</b>					
コード進行の組み立て方やメロディに対する和音の付け方を身に付ける。DAW ソフトでの楽曲制作、作曲をやってみる。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	DAW ソフトの簡単な操作方法①				
2 回目	DAW ソフトの簡単な操作方法②				
3 回目	コードの押さえ方 (トライアド) ①				
4 回目	コードの押さえ方 (トライアド) ②				
5 回目	16 小節の明るい曲の制作				
6 回目	16 小節の明るい曲の制作				
7 回目	16 小節の暗い曲の制作①				
8 回目	16 小節の暗い曲の制作②				
9 回目	譜面と楽曲の提出				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	初めての編曲（アレンジ）		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分（1 単位時間 45 分）	年間授業数	9 回（18 単位時間）	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	作曲／編曲／ピアニスト／音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、T V、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
アレンジとはお化粧をするようなものです。本質は変えずに見た目の印象を決めるという大事な作業です。「作曲したデモのクオリティをあげたい」「サウンドのイメージがあるけど作り方がわからない」「リズムの種類やコードの変え方をもっと知りたい」などの疑問を解決します。初心者向けにアレンジとは何なのか解説をしながら、DTM で実際に演習を繰り返しながら技術を習得してもらいます。					
<b>到達目標</b>					
編曲の基礎を身につけて 4 リズムの最低限のアレンジができる技術を習得する。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	4 リズム、楽器編成				
2 回目	コード進行、リハモテクニック				
3 回目	リズム、楽器編成グルーブとは				
4 回目	楽曲構成の種類				
5 回目	インスト楽曲でのアレンジ、楽器編成				
6 回目	パート楽器（strings, Bress セクション）				
7 回目	民族系楽器				
8 回目	実習 1				
9 回目	実習 2				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	初級ドラム		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	米国 MI 卒。サポート演奏、楽曲提供、リズムワークショップなどの活動を行う。共演で Ben E King、ビリーバンバン、コニー、竹下景子ほか多数。後進の指導にも長年たずさわっている。				
<b>授業概要</b>					
シングルストローク、ダブルストローク、4way インディペンデンスの基礎を徹底的に練習する。					
<b>到達目標</b>					
ドラムを演奏できるようにする。ドラムの知識、音楽での役割を理解する。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	We will rock you シンプルなロックドラムを叩く、基本音符				
2 回目	Billy jean シンプルなエイトビートを叩く、シングルオルタネートストローク				
3 回目	Don't wanna miss a thing キックのバリエーション				
4 回目	16ビートの練習、アクセント練習				
5 回目	三連ビートの練習、フラム				
6 回目	バラードのドラム、シャッフルビート				
7 回目	ダブルストローク				
8 回目	5st, 7st, 9st ロール				
9 回目	パラディドルからのフレーズ				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	世界のコード進行いただきます		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1年次, 2年次, 研究科	
授業時間	90分 (1単位時間 45分)	年間授業数	9回 (18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	作曲/編曲/ピアニスト/音楽プロデューサー。慶應義塾大学在籍中よりスタジオミュージシャンを始めて、多数のアーティストのサポート、TV、アニメ、劇伴音楽など手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
日本を含めた世界の楽曲から、いわゆる定番のコード進行を、実際に曲を聴きながら紹介します。コード進行には著作権はありません。たくさんパターンを知ったら作曲りにガンガン使ってみよう！DTMを使いながら進めるので、アレンジや楽器編成なども交えて解説します。					
<b>到達目標</b>					
日本を含めた世界の楽曲から定番のコード進行を実際に曲を聴きながら学び、数多くのパターンを作曲りに活用できるスキルを身につける。					
<b>授業計画・内容</b>					
1回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の印象の要素（声、楽器、リズム、ハーモニー）におけるコード進行の役割</li> <li>・コード理論の基礎知識、セカンダリドミナント、モーダルインターチェンジなど</li> <li>・1625進行 ・4321進行 ・王道進行</li> </ul>				
2回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポップバンク進行</li> <li>・6415進行、4156進行への展開</li> </ul>				
3回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小室進行 ・下降カノン進行 ・丸サ進行</li> </ul>				
4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Creep進行</li> <li>・マイナートニックへのIIIm-V7進行（メロディック、ハーモニック） ・枯葉進行</li> </ul>				
5回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンダリドミナントII7を使う6251進行</li> <li>・4321進行の細分化</li> </ul>				
6回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IIIm-V7たたみかけ進行</li> <li>・ジャズにおけるセカンダリドミナントの多用化</li> </ul>				
7回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トナーリテイトリックを使った進行例</li> <li>・風の谷のナウシカにおけるモーダルインターチェンジ</li> </ul>				
8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブドミナントマイナーとセカンダリドミナントの歴史的応用例</li> <li>・セカンダリドミナント項目のまとめ（10選）</li> </ul>				
9回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モーダルインターチェンジ代表例（6選） ・楽曲における転調例（4選）</li> <li>・短3度転調のアナライズおよび使用方法</li> </ul>				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	打ち込みの為のベースライン		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
ベースラインの打ち込みには、DTM の技術はもちろん、色々なパターンのベースラインを知っている必要があります。その格好良いパターンをたくさん紹介します。(実際に打ち込む授業ではありません)					
<b>到達目標</b>					
さまざまなベースラインの引き出しを作る。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ルート音のみを使ったパターン				
2 回目	ルート+5 度を使ったパターン				
3 回目	ルート+6 度、ルート+7 度を使ったパターン				
4 回目	3 和音のコード・トーンと 4 和音のコード・トーン				
5 回目	クロマチックアプローチ				
6 回目	メジャーペンタフレーズ				
7 回目	マイナーペンタフレーズ				
8 回目	オンコードについて				
9 回目	復習と確認テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	超初級ストリングス・アレンジ入門		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ベーシスト/ヴォーカリストとして自身のバンド竜理長などで活動。また渡り廊下走り隊など、楽曲提供も多数。サポート・ミュージシャンとして大槻ケンヂ、DIAMOND☆YUKAI などをサポート。またベース教則本も執筆する。				
<b>授業概要</b>					
ポップス、ロック、劇判、色々な音楽によく使われるストリングスのアレンジを初歩の初歩から勉強します。歌の人はコーラスから応用して、楽器の人は鍵盤やギター、ベースなどから応用して考えると、意外なほど簡単にアレンジ出来ます。まずはオープンに散らして 4 声のハーモニーを作るところから、やって行きましょう。					
<b>到達目標</b>					
ゼロからストリングス・アレンジを学び、最終的には DTM での打ち込み、更にはスコア (4 声の) を書く事や、ディヴィジなども出来るようにします。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	まずはざっくりと講義します。ヴァイオリン (なんで第 1 第 2 があるか)、ヴィオラ、チェロ、一応ポップスやロックでは登場機会が少ないですが (何故登場機会が少ないか、ロー・インターバル・リミットの話も含めて) コントラバスまでの音域、音色、役目。定位、クローズ/オープン・ハーモニー、倍音の事、純正調と平均律の違い、コーラス効果、8/6/4/4 など人数の選定に至るまで、とりあえずまず知識をざっくり詰め込んでもらいます。				
2 回目	第 1 週でこぼれたぶんの講義。余った時間で、取りあえずやみくもに作業を始めてもらいます。				
3 回目	コードを固まりで動かすのではなく、ペダル・ノートにも注目して、それぞれのラインがスムーズに動くようにする工夫を考えてみます。また経過音や導音、アウフタクトについても考えを深めて、綺麗でスムーズなラインを作りましょう。				
4 回目	パート間で妙に間が空いてしまったときの「フィラー」について考え、ディヴィジの第 1 歩を踏み出します。				
5 回目	強調したいパートはどこなのか。上下それぞれのオクターヴ・ユニゾンを使ってそのパートを強調する技を身につけましょう。ここでも「ディヴィジ」を上手に使いましょう。				
6 回目	トレモロやピチカートなど、ストリングスならではの技も使えるようにしましょう。				
7 回目	DTM で、同じパートを少しずらして打ち込んだり、ちょっと違う音色にしたり、涙ぐましい努力でリアルなストリングスに近づけてみましょう。				
8 回目	生のストリングス・セクションに実際に弾いてもらうシミュレーションで、パート譜を作りましょう。小節番号を入れるのを忘れずに。				
9 回目	リバーブやコンプなど、ストリングスに効果的なエフェクト処理を考えましょう。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	普通の歌の授業		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	ベーシスト/ヴォーカリストとして自身のバンド竜理長などで活動。また渡り廊下走り隊など、楽曲提供も多数。サポート・ミュージシャンとして大槻ケンヂ、DIAMOND☆YUKAI などをサポート。またベース教則本も執筆する。				
<b>授業概要</b>					
まず姿勢を整えて呼吸を 10 分ぐらいやります。その後発声練習をやります。順番に自分の持って来てくれた課題曲をレッスンしましょう。					
<b>到達目標</b>					
歌唱技術の向上					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	発声練習、歌唱レッスン				
2 回目	発声練習、歌唱レッスン				
3 回目	発声練習、歌唱レッスン				
4 回目	発声練習、歌唱レッスン				
5 回目	発声練習、歌唱レッスン				
6 回目	発声練習、歌唱レッスン				
7 回目	発声練習、歌唱レッスン				
8 回目	発声練習、歌唱レッスン				
9 回目	発声練習、歌唱レッスン				
評価方法	歌唱記述の向上具合、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	癒し！？アンビエント・ミュージックに挑戦！！		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	ギタリストとしての活動で得た豊富な音楽経験を基に現在は Psychedelic Trance アーティスト「CYLON」として国内外の大型フェスを中心に世界規模で活躍中。				
<b>授業概要</b>					
環境音楽と言う訳語が充てられる事も多い ambient music。自然界の環境音と人工環境音を素材として用いる事が多い ジャンルだが、そのスタイルに制限は無く、明確な境界線も存在しない。自由度の高い制作を行える点からも、必然的にエレクトロニカ等とも繋がりを持ちつつ、能動的に空間そのものを自然の音や人工音の響きでデザインする音楽、ambient music。なんとも捕らえ所も無く摩訶不思議な世界を、自らのオリジナルな発想で旅してみよう！！					
<b>到達目標</b>					
ambient music の作成					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ambient music とは何かを音源や資料を通して学ぶ。スキルチェック。				
2 回目	シンセによる音作りを学ぶ。				
3 回目	生楽器音を含むトラックの空間的処理を研究。				
4 回目	周波数帯的バランスの重要性を知る。				
5 回目	自然環境音やフィールドレコーディングされた音を取り入れよう。				
6 回目	控えめかつ心地よいリズムの研究。持続音ループがもたらす効果。				
7 回目	持ちのよいストーリー作りの基本を研究しつつ自作曲の制作。				
8 回目	自作曲の制作。(ストーリー展開に注視)				
9 回目	自作曲の制作。(ストーリー展開に注視) 作品提出				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Drummers Workshop !!		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	SADS、地獄カルテット、SUNS OWL のドラマー。ドラム教則本、地獄のメカニカルトレーニングフレーズの著者。黒夢、B'z などさまざまなサポートも務める				
<b>授業概要</b>					
プレイだけでなく、セットやチューニング、はたまた実音楽業界でのドラマーの立ち位置や、また、譜面等の書き方をレクチャー。前半は知識を付ける事に重点を置く。後半は実音楽業界での豆知識を解説する。					
<b>到達目標</b>					
プレイだけでなく、セットやチューニング、実音楽業界でのドラマーの立ち位置、譜面などの書き方を身に付ける					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ドラマー個人の個性ともいうべきスネアのチューニングをレクチャー。				
2 回目	上記スネア同様バスドラムのチューニングをレクチャー。				
3 回目	上記同様、タム、フロアのチューニングをレクチャー。				
4 回目	各メーカーの特性や HH の調整方法、セッティング方法を解説				
5 回目	各メーカーの特性や各部品の解説、メンテの仕方や良質な片付け、保管方法をレクチャー。				
6 回目	プロドラマーの現状をレクチャーしつつ、椅子、ペダル、スティックについてのメンテ、片づけ保管方法をレクチャー。				
7 回目	各パート共通の言語とも言える譜面の書き方をレクチャー。読めるが書けない、耳から得た情報をいち早くデータに残す、等譜面の重要性を伝えつつスピーディーに譜面を作成できるようコツを伝授。				
8 回目	上記同様譜面を読み書き。実体験を元に現在の音楽業界でのドラマーの「スタンス」や「かくあるべき」と言った話を中心に個々のスタイルに合わせ何が必要でどこへどんなアプローチをすべきか、ベクトルを決め己のドラム道を極めていく。				
9 回目	復習とレポート提出				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Fill in Vol①		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	Live 5pb ハウスバンド、CHIYO-ST.Live ハウスバンドなどのアニソンやロックを軸に Jazz から歌謡曲まで幅広く活動している。前記記載の経験を活かし、ドラム演奏の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
キメに対しての Fill in や曲中での Fill in 等、Fill in だけをひたすらやる授業です。					
<b>到達目標</b>					
様々な Fill in の習得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	シングルストロークの fill in				
2 回目	シングルストロークの fill in				
3 回目	ダブルストロークの fill in				
4 回目	ダブルストロークの fill in				
5 回目	パラディドルの fill in				
6 回目	パラディドルの fill in				
7 回目	フラムを使った fill in、クロススティッキングを使った fill in				
8 回目	フラムの応用 fill in				
9 回目	総まとめと復習				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Gospel CHOPS		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	Live 5pb ハウスバンド、CHIYO-ST.Live ハウスバンドなどのアニソンやロックを軸に Jazz から歌謡曲まで幅広く活動している。前記記載の経験を活かし、ドラム演奏の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
Gospel CHOPS フレーズをひたすら練習します！一緒に Black Music を楽しみましょう！					
<b>到達目標</b>					
Gospel CHOPS フレーズの習得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	手のフレーズのみ				
2 回目	手のフレーズのみ				
3 回目	コンビネーションでのフレーズ				
4 回目	コンビネーションでのフレーズ				
5 回目	ゴスペルチョップス特有のドラムセットでの動き				
6 回目	ゴスペルチョップス特有のドラムセットでの動き				
7 回目	feel を学ぶ、学んだものを曲で使う				
8 回目	feel を学ぶ、学んだものを曲で使う				
9 回目	Review・テスト				
評価方法	学期末の試験、習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	GO's 塾		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	SADS、地獄カルテット、SUNS OWL のドラマー。ドラム教則本、地獄のメカニカルトレーニングフレーズの著者。黒夢、B'z などさまざまなサポートも務める				
<b>授業概要</b>					
地獄のメカニカルトレーニングを使った右翼的な授業。メタルはもちろん、ロックや Hip Hop、そしてスローバラードなんかでも使える、つやつぱいフィル、いなせなフレーズ、ヤバかつこいフレーズを伝授。パフォーマンスも重視した授業を展開。					
<b>到達目標</b>					
艶っぽいフィル、いなせなフレーズ、ヤバかつこいフレーズの習得。同時にパフォーマンスも重視。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	カッコイイドラムとは？カテゴライズされた中でのカッコ良さの研究。ウォームアップフレーズの説明				
2 回目	アクセントの使い方とセットでの応用				
3 回目	8 ビート (コンビネーションとハイハットを使用)、16 分のパイプのあるフィルとビート				
4 回目	オーソドックスな W ペダルを使ったフレーズとフィル				
5 回目	ロック、メタルに特化したビートをレクチャー				
6 回目	オフビートの初級編				
7 回目	3 連 (シャッフル)、4 分打ち～神の領域				
8 回目	16 分のリズムと応用				
9 回目	地獄のメカトレの総合練習曲を課題曲に実力テスト				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Jazz ドラム①		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、Funk-A-Diddle、Page One などで活動中。Jazz、Soul、Funk などさまざまなアーティストと共演、サポートを行っている。前記経験を活かし、ドラム奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
Jazz をやってみたい人に。基本的な Swing のパターンから、手足のコンビネーション、フィルインなど。実際に Jazz の CD 等も聴きながら雰囲気が出せるように練習します。					
<b>到達目標</b>					
Jazz ドラムの基本的な Swing のパターンから、手足のコンビネーション、フィルインなどを身に付ける					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	レガートの方法				
2 回目	左手の参加①②				
3 回目	右足の参加①②				
4 回目	右足と左手のコンビネーション①				
5 回目	右足と左手のコンビネーション②				
6 回目	Jazz 的 Fill in①				
7 回目	Jazz 的 Fill in②				
8 回目	自由に叩く				
9 回目	復習・テスト				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Let's Do Funk!		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、Funk-A-Diddle、Page One などで活動中。Jazz、Soul、Funk などさまざまなアーティストと共演、サポートを行っている。前記経験を活かし、ドラム奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
Soul、Funk の歴史を振り返りながら、それぞれの時代を代表する楽曲と共に、リズムパターンの変遷をたどります。名曲にはそれに見合ったグルーブがある。実際に曲に使われたリズムパターンを練習するので、実践的で、そのパターンの役割を学ぶこともできます。					
<b>到達目標</b>					
Soul、Funk の歴史を振り返りながら、それぞれの時代を代表する楽曲と共に、リズムパターンの変遷をたどる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Early Soul~Motown~Shuffle feel, 2nd line feel				
2 回目	12/8feel~Slow 16th Note feel				
3 回目	Quarter Note feel				
4 回目	8th Note feel				
5 回目	8th Note and 16th note feel				
6 回目	2 hand 16th Note feel				
7 回目	Go-Go~New Jack Swing				
8 回目	総復習				
9 回目	テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ジャズ・ドラム教室		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	大阪音大を卒業後、奨学金を得てパークリー音大に留学。これまで上原ひろみ、渡辺貞夫、フローリアン・ウェーバー等、数多くのミュージシャンと共演。東京を中心に国内外問わずツアー、ライブで幅広く活動中。				
<b>授業概要</b>					
ジャズのリズム（主に 3 連符を多く使用される音楽）を歴史や音楽を理解させより幅の広いドラマーになるよう実践で活かせるテクニックと音楽性を習得させる。					
<b>到達目標</b>					
実践で活かせるテクニックと音楽性の習得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Time Playing について				
2 回目	フレーズについて/それぞれのドラムのパートの奏法を学ぶ				
3 回目	Ride Cymbal のリズムについて、コンピングについて				
4 回目	ゆっくりな Tempo/様々なヴァリエーションで				
5 回目	Fast Tempo/様々なヴァリエーションで				
6 回目	Soloing について、One-bar フレーズを教える				
7 回目	フレーズのオーケストレーションの仕方				
8 回目	Question and Answer のソロのとり方				
9 回目	いままでの総まとめ。リズムの理解度をチェックする				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	スタジオ&セッションドラマー大研究		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	齊藤和義、永井真理子、大江千里などのツアーサポートや佐藤寛之（元光 GENJI）、MASAKI などさまざまなアーティストのレコーディングに携わっている。前記記載の経験を活かし、ドラムの演奏に関する授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
私が影響を受けた世界のドラマーを紹介。そして、そのおいしい所をうまく自分の技術として使えるように習得しカッコ良いドラマーを目指す。					
<b>到達目標</b>					
世界のドラマーのおいしい所をうまく自分の技術として使えるように習得しカッコ良いドラマーを目指す。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ジョン・ロビンソン研究（ルーファス、マイケルジャクソン他）				
2 回目	ジェフ・ポーカロ研究（TOTO 他）、ジェフ・ポーカロ フレーズトレーニング				
3 回目	ミッキー・カーリー研究（ホール&オーツ、ブライアン・アダムス他）				
4 回目	スティーブ・フェロン研究（チャカ・カーン、アヴェレージ・ホホワイト・バンド他）				
5 回目	カータービューフォード研究（デイク・マーシューズ・バンド）				
6 回目	ビニーカリウタ研究（スティング）				
7 回目	マヌカッチュ研究（ピーター・ガブリエル、スティング）				
8 回目	バーナード・パーティ、リック・マロッタ、スティーブ・ガット（スティーリー・ダン）、スティーブ・ジョーダン（ジョン・メイヤー他）研究				
9 回目	復習とテスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ブラジリアン・ドラミング		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	大阪音大を卒業後、奨学金を得てパーカー音大に留学。これまで上原ひろみ、渡辺貞夫、フローリアン・ウェーバー等、数多くのミュージシャンと共演。東京を中心に国内外問わずツアー、ライブで幅広く活動中。				
<b>授業概要</b>					
ブラジルのリズムや音楽を正しく理解して、実践で生かせるテクニックと音楽性を学んでいく。					
<b>到達目標</b>					
ブラジルのリズムを実践で生かせるテクニックと音楽性の習得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	サンバの紹介/音楽を聴かせてリズムをなじませる。				
2 回目	サンバ CRUZADO の紹介				
3 回目	サンバのハイハットとライドシンバルを使ったパターンの紹介。				
4 回目	様々なサンバのヴァリエーション/パターンの紹介。サンバのファンク・フィール				
5 回目	ボサノバの紹介。様々なボサノバのヴァリエーションを紹介/ (ブラシを使ったパターンなど)				
6 回目	バイアオ (Baiao) の紹介				
7 回目	バイアオのファンク・フィール				
8 回目	パティート・アルト (Patido-Alto) のリズムの紹介				
9 回目	今までの総まとめ。様々なリズムの特色を理解しているか Check。				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	リズム・ワークショップ		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該 当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	大阪音大を卒業後、奨学金を得てパーカー音大に留学。これまで上原ひろみ、渡辺貞夫、フローリアン・ウェーバー等、数多くのミュージシャンと共演。東京を中心に国内外問わずツアー、ライブで幅広く活動中。				
<b>授業概要</b>					
実践でよく使われる様々なグルーブ、リズムを紹介しながら、アンサンブルの中でどのようにいいグルーブを作っていくかを研究していく。					
<b>到達目標</b>					
アンサンブルの中でいいグルーブを作れるようになる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Straight Eighths の作り方				
2 回目	Sixteenth Feel の作り方				
3 回目	Rock Shuffle, Jazz Shuffle の紹介				
4 回目	Funk① (イーヴン中心のリズム)				
5 回目	Funk② (スウィングしたファンク・リズムの研究)				
6 回目	Funk③ (様々なパターンの紹介)				
7 回目	Hip Hop のリズム研究				
8 回目	Jazz Feel の研究				
9 回目	それぞれのフィールをしっかりと理解し演奏できるか Check。				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	リニア Drumming		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	Live 5pb ハウスバンド、CHIYO-ST.Live ハウスバンドなどのアニソンやロックを軸に Jazz から歌謡曲まで幅広く活動している。前記記載の経験を活かし、ドラム演奏の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
ドラム、シンバル、またはその他のキットが同時にヒットしないドラムの演奏スタイル「リニア Drumming」を練習します。 リズムやグループの練習から、Drum solo、Funk Drum に応用出来る技術を養います。					
<b>到達目標</b>					
リニア Drumming を使ったリズム、グループ化、Drum solo、Funk Drum に応用出来る様にする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	リニアの基本説明 リズムパターン 1				
2 回目	リニアの基本説明 リズムパターン 2				
3 回目	リニアの基本説明 リズムパターン 3				
4 回目	グループ化の理解、コンビネーション 1				
5 回目	グループ化の理解、コンビネーション 2				
6 回目	グループ化の理解、コンビネーション 3				
7 回目	リズム、コンビネーションの組み合わせ、Solo 1				
8 回目	リズム、コンビネーションの組み合わせ、Solo 2				
9 回目	Review・テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ルーディメンツをドラムセットで。		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、Funk-A-Diddle、Page One などで活動中。Jazz、Soul、Funk などさまざまなアーティストと共演、サポートを行っている。前記経験を活かし、ドラム奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
ルーディメンツをスネア上で覚えるだけじゃもったいない!! ドラムセット全体を使って自由に活用してみよう。Steve Gadd、Dacid Garibaldi らの王道のフレーズから、リニアフレーズやジャズにおけるフィルインまで、ルーディメンツの可能性を広げましょう。					
<b>到達目標</b>					
ルーディメンツをドラムセット全体を使って自由に活用できるようにする。ルーディメンツの可能性を広げられるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Roll 系ルーディメンツ応用①				
2 回目	Roll 系ルーディメンツ応用②				
3 回目	Paradiddle 系ルーディメンツ応用①				
4 回目	Paradiddle 系ルーディメンツ応用②				
5 回目	flam 系ルーディメンツ応用①				
6 回目	flam 系ルーディメンツ応用②				
7 回目	Drag 系ルーディメンツ応用①				
8 回目	Drag 系ルーディメンツ応用②				
9 回目	複合ルーディメンツ応用				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	超ストロングスタイル スーパーフィル編		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	SADS、地獄カルテット、SUNS OWL のドラマー。ドラム教則本、地獄のメカニカルトレーニングフレーズの著者。黒夢、B'z などさまざまなサポートも務める				
<b>授業概要</b>					
W ペダルに特化した授業でエクササイズと研究も兼ねる。スタンダードな W ペダルの使い方からトリッキーな W ペダルの使い方、そしてエクストリームなレッスンを交えて W ペダルの達人を目指す。					
<b>到達目標</b>					
持ちフィル増やし、フィルのバリエーション、曲を生かすフィルの習得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	16 分系 上半身に特化した、スネア、タムを使ったフィル				
2 回目	16 分系 コンビネーション。下半身も使ったコンビフレーズ				
3 回目	32 分系 16 分から瞬間的に入れる 32 分に挑戦				
4 回目	32 分系 高速バスドラムを応用したフィルに挑戦				
5 回目	ライト！レフト！ライト！レフト！ クラッシュをおりませたフィル				
6 回目	パラディドルをフィルに応用。リズム～フィルへ！！				
7 回目	これぞ W ペダル Vo1				
8 回目	HH を使ったいなせなフィルをやってみよう				
9 回目	応用編と確認テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	超ストロングスタイル リズムビート編		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	SADS、地獄カルテット、SUNS OWL のドラマー。ドラム教則本、地獄のメカニカルトレーニングフレーズの著者。黒夢、B'z などさまざまなサポートも務める				
<b>授業概要</b>					
スタンダードなビートには一切ふれず、突飛なフレーズやビートを伝授！GO オリジナルイケイケビート！やわらかファニービート！エクストリームなビートに特化して、基礎等はやりません。曲を生かすリズムや引き出しを増やしたい生徒、カモン！！					
<b>到達目標</b>					
突飛なフレーズやビート中心にやわらかファニービート！エクストリームなビートを体得。曲を生かすリズムや引き出しを増やす。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	スリップビート編 1！！				
2 回目	スリップビート編 パート 2！！				
3 回目	リニアフレーズ 1				
4 回目	リニアフレーズ 2				
5 回目	ムーディー編				
6 回目	ツインペダル編 1！！				
7 回目	ツインペダル編 2！！				
8 回目	ルーディメンツ編 1！！				
9 回目	ルーディメンツ編 2！！、総集編テスト				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	両刀使い		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	SADS、地獄カルテット、SUNS OWL のドラマー。ドラム教則本、地獄のメカニカルトレーニングフレーズの著者。黒夢、B'z などさまざまなサポートも務める				
<b>授業概要</b>					
W ペダルに特化した授業でエクササイズと研究も兼ねる。スタンダードな W ペダルの使い方からトリッキーな W ペダルの使い方、そしてエクストリームなレッスンを交えて W ペダルの達人を目指す。					
<b>到達目標</b>					
スタンダードな W ペダルの使い方からトリッキーな使い方まで。エクストリームなレッスンを交えて W ペダルの達人を目指す。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	W ペダルの特性についてレクチャー。セッティング。左足（およびきき足じゃない足）の入れ方や左足のみのエクササイズ。				
2 回目	オルタネイトのフットワーク。ビートも入れる。チェンジアップ、エクササイズフレーズと実践向きフレーズ				
3 回目	ヒールアップ奏法、ヒールダウン奏法、スライド奏法、オープン SHOT 等々				
4 回目	上記のフットワークをビートに応用。実践的な応用方法をレクチャー				
5 回目	上半身をまじえたコンビネーションを使い 2&2、2&4、4&2 チェンジアップをまじえたフィルをレクチャー				
6 回目	何種類かの足順のトリプルの説明およびエクササイズをプレイし 3 打打ちに慣れる				
7 回目	足の W ストロークのレクチャー。その上で上記の応用をまじえ、フレージング、フィルをレクチャー				
8 回目	フットワークにおけるルーディメントを応用、特に 3 連、6 連での使い方をレクチャー				
9 回目	総復習とテスト				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ドラマー出禁！！		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース以外のコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	SADS、地獄カルテット、SUNS OWL のドラマー。ドラム教則本、地獄のメカニカルトレーニングフレーズの著者。黒夢、B'z などさまざまなサポートも務める				
<b>授業概要</b>					
アンサンブルをする上で、もっとも大事とされるグルーヴやノリ、リズムをもっとよく理解し、本来やりたいパートが上手になるために、ドラムに挑戦してみよう！！様々なリズムを理解し、ノリやグルーヴを体にしみ込ませ、自分のパートに役立てよう！！（特に Vo さんいっしょーい！！！！）					
<b>到達目標</b>					
アンサンブルをする上で、もっとも大事とされるグルーヴやノリ、リズムをもっとよく理解する					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	セットに座わず、クリックや曲に対して拍がとれるか？とれているか？出された音型がどうなっているのか。音符の長さやノリとは？をレクチャー。				
2 回目	スティックをにぎり「ドラムってこうやってなり立っているんだ！」を説明、簡単なビートを叩いてみる！				
3 回目	一般的に言われているビートの説明。前回やってみた 8 ビートを 16 ビートにしてみたりさまざまなビートを簡単に説明				
4 回目	8 分音符型の簡単フィルをやってみよー！ 8 分の音型のビートとフィルで曲を構成してみよー！				
5 回目	16 ビートの基本パターン、両手打ち、片手打ちなど				
6 回目	さまざまな 16 ビート、ハネ系、足の W 入り、16 分音符のアクセント、フレーズ				
7 回目	シンコペーションとは？簡単なシンコペフレーズに挑戦				
8 回目	手足のコンビフレーズを入れたフィルを入れてみよう！！				
9 回目	総復習とテスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	3finger picking		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
3 本の指ではじく「3フィンガー」のテクニックを確実に身につけるための基礎的なトレーニングを中心としたプログラム。					
<b>到達目標</b>					
3フィンガーピッキングを身に付け、なめらかで速いフレージングや、3本でなければ不可能な弦とびフレーズなどの習得。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Intoroduction・・・様々な 3finger picking、指順など。3finger picking の目的、効果など				
2 回目	Basic Training①・・・薬指の強化。 Basic Training②・・・スピードアップ、3 連				
3 回目	Basic Training③・・・レイキング、スクロールトレーニング。 Basic Training④・・・16th note、トレーニング				
4 回目	Phrases①・・・高音弦での速弾き				
5 回目	Phrases②・・・下降フレーズでのレイキング				
6 回目	Phrases③・・・アルペジオ				
7 回目	Phrases④・・・弦とびフレーズ				
8 回目	まとめ、review、Test 課題曲発表				
9 回目	課題曲を演奏				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	5 弦ベース完全メソッド		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該 当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	Soul/Funk、Rock、Jazz/Fusion から演歌までジャンルにとらわれないステージ、レコーディング、サポート、またミュージカルのバンドマスターも務める。ベースマガジンでは 27 年に渡り、奏法解説等を連載、また教則本も『プロ・ベーシストに近づくためのメソッド集』『プロとアマを分けるミュート技術』『ファンク・ベースの教科書』などピック弾き、スラップ、5 弦ベース等の専門書など多数執筆、海外でも発売している。				
<b>授業概要</b>					
5 弦ベースをただ単に 4 弦よりも音域を単に広がった楽器という認識にとどまらず、1 本弦がふえることによりポジションの表現幅が広がり様々なベースラインが生まれる。ここでは 5 弦ベースを 4 弦とは違う楽器として取り組み音楽への可能性を広げる。					
<b>到達目標</b>					
5 弦ベースのポテンシャルを様々な音楽ジャンルで発揮できるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	5 弦を含めたダイアトニックコードを把握する				
2 回目	5 弦ルートで 5 弦から 1 弦まで活用するダイアトニック・コード練習				
3 回目	上昇と下降を繰り返すダイアトニック・スケール把握のための練習				
4 回目	ローポジションのみで転回させるダイアトニック練習				
5 回目	3 度音程・4 度音程のインターバル練習				
6 回目	5 度・6 度音程のインターバル練習				
7 回目	ペナトニックの効果的なシフト・チェンジ練習				
8 回目	5 弦ベース・指弾き実践フレーズ				
9 回目	5 弦ベース・スラップ実践フレーズ				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Dream Theater ベース		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、アメリカ西海岸を中心にさまざまなアーティストをサポート。帰国後もバンドやアーティストサポートなど精力的に活動している。				
<b>授業概要</b>					
Dream Theater の曲を題材にひたすら練習していきます。両手の体力・テクニック共に向上したい方。多弦ベーシストの方。ぜひ！					
<b>到達目標</b>					
左手ファンギング及び右手ピッキングテクニックの向上。変拍子への対応力アップを目標とする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	「ANOTHER DAY」バラードで Dream Theater の楽曲への苦手意識を無くす				
2 回目	「SORROUNDED」シンプルな 9/8 拍子のパターンを習得する				
3 回目	「PULL ME UNDER」高速ユニゾンフレーズでテクニック向上。				
4 回目	「TAKE THE TIME」シャッフルにて 3 フィンガー奏法の習得、6/4 拍子パターンを習得する				
5 回目	「TAKE THE TIME」続き。3 フィンガーで 16 分音符を弾けるようにする				
6 回目	「Under A Glass Moon」6/4 拍子のパターンを習得				
7 回目	「Under A Glass Moon」3/4 拍子や 7/8 拍子のパターン、他拍子との切り替えをスムーズに出来るようになる				
8 回目	「METROPOLICE Part I」超難関曲にてテクニックや変拍子への対応、総合力をアップ				
9 回目	「METROPOLICE Part I」続き。ポスハンドタッピング習得。止まらない変拍子ユニゾンフレーズの畳み掛けでテクニックと集中力向上を目指す				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Groove Concept(1)		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
ベースの演奏やアンサンブルに於いて最も重要な要素であるグルーブについて、リズムの感じ方や演奏の仕方、周りの音のモニターの仕方についてトレーニングする。					
<b>到達目標</b>					
8th/16th/Shuffle など、様々なリズムパターンをリ良く正確に演奏出来るようになること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	8ビート(1) 拍のオモテ/ウラについて、身体の動かし方、カウントを言いながら簡単なフレーズを演奏				
2 回目	8ビート(2) シンコペーションのトレーニング、クリックの様々な聴き方、テンポの設定方法など				
3 回目	16ビート(1) カウントの仕方、身体の動かし方、遅いテンポのフレーズをカウントしながら演奏				
4 回目	16ビート(2) シンコペーションを含むフレーズ、ドラムセットの構造とモニターの仕方について				
5 回目	シャッフル/3 連系(1) カウントの仕方、身体の動かし方、遅いテンポのフレーズ、譜面上の拍子の解釈の仕方について				
6 回目	シャッフル/3 連系(2) 2 拍 3 連についてのトレーニング、同じフレーズを Straight と Swing の両方で演奏				
7 回目	Swing 16th、ハーフタイムシャッフルについて、カウントの仕方、身体の動かし方、遅いテンポのフレーズをカウントしながら演奏				
8 回目	3/4 拍子、6/8 拍子、カウントの仕方と様々なフレーズ、同じフレーズを Straight と Swing の両方で演奏				
9 回目	総まとめ パルスについての考察、4 分音符のグルーブ、チェンジアップエクササイズ				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Groove Concept(2)		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
拍子、テンポ、ビート、パルスなどグルーブに関係する事象に対するより深い考え方、感じ方を学び、それをベースの演奏に反映させるためのトレーニングを行う。					
<b>到達目標</b>					
複雑なリズムパターンや、4 拍子以外の様々な拍子に於いてもノリ良く正確に演奏出来る様になること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	奇数拍子のトレーニング 5 拍子、7 拍子について、2 拍子と 3 拍子の組み合わせ、カウント				
2 回目	16 ビートの複雑なリズムパターン シンコペーションを多く含んだベースライン、7/8 拍子のベースライン				
3 回目	3 連符、3 拍子系の様々なリズム 6/8、12/8、9/8 拍子のベースライン、拍の中身、パルスについて				
4 回目	ビート、パルスとテンポの関係について より細かい音符を意識して演奏する。身体の動かし方とグルーブ感の関係性について				
5 回目	4 ビート、ウォーキングベースのグルーブについて。 スローテンポのスウィングのリズム的解釈				
6 回目	ラテン系のグルーブ(1) ブラジル系のリズムとそのフィーリングについて				
7 回目	ラテン系のグルーブ(2) レゲエのリズムとそのフィーリングについて				
8 回目	ラテン系のグルーブ(3) アフロキューバンのリズムとそのフィーリングについて				
9 回目	総まとめ パルスについてのより深い考察、ポリリズムのトレーニング				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Iron Maiden		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
楽曲を通して、各自がベーシストとしてのフィジカルを強化すること。					
<b>到達目標</b>					
S.Harris のスタイル、サウンド、代表的なフレージングの分析					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	S.Harris のスタイル、サウンド、代表的なフレージングの分析				
2 回目	楽曲[Aces High]のフレージング分析、速い 8 ビートのグルーブを学ぶ。 遅いテンポから徐々に原曲のテンポに近づくことでリズム、フィジカルを強化。				
3 回目	楽曲[Wrathchild]のフレージング分析、16 ビートのタイトなグルーブを学ぶ。 リフをひとつひとつ個別に練習。				
4 回目	楽曲[Trooper]のフレージング分析、代表的なギャロップのピッキングを学ぶ。 2finger だけでなく 3finger やピックでも原曲のテンポで演奏出来る手段を模索する。				
5 回目	楽曲[Number of the Beast]のフレージング分析、medium fast の 8 ビートに ダイナミックな左手のシフティングが絡む、弦移動のトレーニング。				
6 回目	楽曲[Losfer Words]のフレージング分析、速い 3 連系のピッキング、効率的なレイキングのテクニックを学ぶ。				
7 回目	楽曲[Quest for Fire]のフレージング分析、3 連系の変則的ギャロップや ギターとのユニゾンフレーズのトレーニング。				
8 回目	楽曲[Phantom of the Opera]のフレージング分析、 複雑な拍子構成や大幅なテンポチェンジについて学ぶ。				
9 回目	楽曲[Rime of the Ancient Mariner]のフレージング分析、 13 分余に及ぶ大曲を完奏出来るフィジカルとスキルを身につける。				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	KOTA 式ロックベースライン		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、アメリカ西海岸を中心にさまざまなアーティストをサポート。帰国後もバンドやアーティストサポートなど精力的に活動している。				
<b>授業概要</b>					
オリジナル楽曲に対してのベースライン創り、フィルのアプローチ方法等を自身のバンドの楽曲から伝授。それを通じてピック弾き、指弾き、スラップでのテクニックを身に付け選択肢を広げ、楽曲を何倍も格好良く聴かせられるオリジナルベーシストを目指していきます。					
<b>到達目標</b>					
オリジナル楽曲に対してのベースライン創り、フィルのアプローチ方法やピック弾き、指弾き、スラップでのテクニックを身に付け選択肢を広げる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	歌モノ Rock で歌うベースライン				
2 回目	ドロップピッキングでロックリフを弾こう				
3 回目	ボーカルメロディの裏で動いても邪魔にならないベースライン				
4 回目	バラード曲で休符やコード弾き				
5 回目	ピックとスラップで攻撃的なベースライン				
6 回目	テンポの早い曲でうならせるベースライン				
7 回目	歌モノ Rock で歌うベースライン 2				
8 回目	指弾きでグルーヴィーな Rock ベースラインを弾こう				
9 回目	Review・テスト：課題曲演奏				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Pick Bass		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
ピック=ロック、だけでなく様々なニュアンスを表現できる様になろう。					
<b>到達目標</b>					
切れの良いピック弾きのテクニックを修得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Introduction・・・ピックの種類、持ち方、音質、セッティング				
2 回目	ダウンピッキング・・・基本のスタイル、スピード強化など				
3 回目	オルタネイト・ピッキング・・・①アップピッキングとその強化 ②ピッキングの“順番” ③シンコペーションのピッキング、シャッフルのピッキング				
4 回目	課題曲①medium 8th・・・ダウンピッキング				
5 回目	課題曲② fast 8th・・・オルタネイトピッキング				
6 回目	課題曲③ 16th				
7 回目	課題曲④ shuffle				
8 回目	review				
9 回目	課題曲③を演奏				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	R&B Soul Funk ベース研究		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
僕のプレイスタイルに最も影響を与えた R&B/Soul/Funk の偉大なベーシストたちのフレーズをわかりやすく紹介。James Jamerson、Chuck Rainey、Jerry Jemmott、Duck Dun etc・・・					
<b>到達目標</b>					
R&B/Soul/Funk の偉大なベーシストたちのフレーズを理解し自分のものにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	8th Groove①				
2 回目	8th Groove②				
3 回目	16th Groove①				
4 回目	Shuffle Groove①				
5 回目	Swing 16th Groove①				
6 回目	6/8 Groove				
7 回目	7/8 Groove				
8 回目	まとめ				
9 回目	課題曲演奏				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Various Grooves (ワールドビート)		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
様々なジャンルの音楽やグルーブを体験してみたい人に。Samba、Bossa Nova、Reggae、Afro/Cuban etc...					
<b>到達目標</b>					
世界の色々な Groove に触れる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Samba/Bossa Nova①ベーシックなリズムと奏法				
2 回目	Samba/Bossa Nova②課題曲を演奏				
3 回目	その他の Brazil 系 Groove の奏法、課題曲演奏				
4 回目	Reggae①ベーシックなリズムと奏法				
5 回目	Reggae②課題曲を演奏				
6 回目	Salasa①成り立ち、様々なリズム				
7 回目	Reggae②課題曲を演奏				
8 回目	African①成り立ち、様々なリズム				
9 回目	African②課題曲を演奏				
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	アルペジオ/スケール特訓		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
ベースラインやアドリブソロの音づかいの素となる、様々なコードのアルペジオとスケールを、コード進行に即して演奏し、技術および聴力を向上させる。					
<b>到達目標</b>					
曲のコード進行に対して、即座にそのコードトーンと使用可能なスケールを設定出来る様になること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	4 種類のトライアドのアルペジオ メジャースケール、ナチュラルマイナースケール(2 オクターブ)				
2 回目	4 種類の 7th コードのアルペジオ メジャー key のダイアトニック 7th コード及び、それに対応する 7 つのスケール(モード)				
3 回目	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーモード、様々なスケールとそのハーモニー				
4 回目	I - VI7 - II - V のコード進行に対して アルペジオと使用可能なスケールを選択して演奏する				
5 回目	8 小節のコード進行に対して アルペジオと使用可能なスケールを選択して演奏する。				
6 回目	Extension について 9th, 11th, 13th を意識したフレージング、アルペジオ				
7 回目	Alteration について b9, #9, #11, b13 の解決先の理解、それらを意識したフレージング、アルペジオ				
8 回目	クロマチックアプローチ・拍の強弱を意識したフレージング・代理コードの設定について				
9 回目	様々なスケール・アルペジオのまとめ 特徴音を理解し効果的に使用出来る様にする				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	音数多めの 16th Groove		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記記載の経験を活かし、ベース奏法を授業で行う。				
<b>授業概要</b>					
Funk 系を中心に音数の多い 16th の曲を特集します。					
<b>到達目標</b>					
音数の多い 16th の楽曲にチャレンジする事を通して、両手のコンビネーションスキル、ベースラインの構成音の組み立て、複雑なリズムへの対応力を向上させること。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Love The One You're With/Aretha Franklin				
2 回目	Happy Feelin'/Earth,Wind&Fire				
3 回目	What Is Hip/Tower Of Power				
4 回目	同上				
5 回目	Hooked Up/Jamiroquai				
6 回目	Come On,Come Over/Jaco Pastrious				
7 回目	Deen Town/Vulfpeck				
8 回目	Vinnie/Screaming Headless Torsos				
9 回目	Mofungo/Lost Tribe				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ジェームス・ジェマーソン奏法		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該 当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	Soul/Funk、Rock、Jazz/Fusion から演歌までジャンルにとらわれないステージ、レコーディング、サポート、またミュージカルのバンドマスターも務める。ベースマガジンでは 27 年に渡り、奏法解説等を連載、また教則本も『プロ・ベーシストに近づくためのメソッド集』『プロとアマを分けるミュート技術』『ファンク・ベースの教科書』などピック弾き、スラップ、5 弦ベース等の専門書など多数執筆、海外でも発売している。				
<b>授業概要</b>					
ジェマーソン特有のジャズでのスイングベースを 16 ビートに特化させたベースラインやワンポジション、ハーフポジションですべてのコードトーンを自由に転回して表現するプレイの他、開放弦によるゴーストノート、ミュート奏法などの使い方を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
どのようなコード進行でも自由にコードトーンを転回してプレイできるようになる。シンコペーション、ゴーストノートを使ったグルーヴィーなベースラインを作れるようになる。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	経過音を使った 4Beat スイングのラインを 16Beat に転化させる。				
2 回目	縦動きラインでのレイキングの使い方を習得する。				
3 回目	ハーフポジションでコードトーンを自由に転回する。開放弦～4 フレットを中心とした機能的な運指を習得する。				
4 回目	シンコペーションが生むグルーブ感を体感する。				
5 回目	ワンコード一発でのベースラインのジェマーソンの音使いを研究する。				
6 回目	コード進行の中でのジェマーソンのコードトーンの使い方を研究する。				
7 回目	クロマティック経過音を使った モータウン楽曲練習①				
8 回目	メロディックなベースラインのモータウン楽曲練習②				
9 回目	全ての要素が詰まった 12 小節の総仕上げベースラインを弾く。				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ジャコ・パストリアス奏法		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	Soul/Funk、Rock、Jazz/Fusion から演歌までジャンルにとらわれないステージ、レコーディング、サポート、またミュージカルのバンドマスターも務める。ベースマガジンでは 27 年に渡り、奏法解説等を連載、また教則本も『プロ・ベーシストに近づくためのメソッド集』『プロとアマを分けるミュート技術』『ファンク・ベースの教科書』などピック弾き、スラップ、5 弦ベース等の専門書など多数執筆、海外でも発売している。				
<b>授業概要</b>					
現代モダンベース奏法の父、ジャコ・パストリアスのメソッド～ピッキング、ポジショニング、リズム、ハーモニクス奏法、ビ・バップ的なフレーズなどを研究することにより音楽への新しいアプローチ、理解を深めます。					
<b>到達目標</b>					
ハーモニクス奏法、和音弾きなどジャコが提示したメソッドを音楽的に使えるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	レイキングを含めたスピーディーな 2 フィンガーピッキング				
2 回目	4 弦から 1 弦までを使ったマイナー～ドリアンとメジャー～リディアンのアルペジオ練習				
3 回目	ワンポジション～4 フレット 4 フィンガー押弦の練習				
4 回目	ナチュラルハーモニクスとピッキング・ハーモニクスの出し方とハーモニーの中での使い方と、ハーモニクスによるコードの作り方				
5 回目	左手のハンマリング、プリングオフや、滑らかなポルタメントなどの抑揚テクニックの練習				
6 回目	16 分音符の 3 つ割りアルペジオやあ、ペントニック 5 つ割の 16 分フレーズ、3 連符の 4 つ割りフレーズなどのリズム練習				
7 回目	ビバップ・フレーズの練習				
8 回目	ジャコのアドリブ、楽曲に挑戦①				
9 回目	ジャコのアドリブ、楽曲に挑戦②				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	タッピング入門		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
タッピングの超基本から練習していきます。興味はあるけど、できないベーシスト対象のクラス					
<b>到達目標</b>					
タッピング奏法の基本の修得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	左手ハンマリング・プリング練習				
2 回目	右手 TAP の基礎練習 1(2 音パターン)				
3 回目	右手 TAP の基礎練習 2(3 音パターン)				
4 回目	右手 TAP の基礎練習 3(4 音パターン)				
5 回目	右手 TAP→スライドのパターン				
6 回目	一本弦上移動パターン				
7 回目	オクターブパーカッションパターン				
8 回目	和音パターン 1 (右手人、中指を両方使うパターン)				
9 回目	和音パターン 2 (インターバルの広いパターン・両手 TAP パターン)				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ピックベース縦横無尽 Vol1		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
ピック弾きの基本となるフォーム、持ち方など初心者も安心のピック弾きの授業です。					
<b>到達目標</b>					
ピック弾きの基本となるフォーム、ピックの持ち方の修得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ダウンピッキング 1 (ミュートについて)				
2 回目	ダウンピッキング 2 (基本 8 ビート)				
3 回目	ダウンピッキング 3 (弦飛びフレーズ)				
4 回目	オルタネイトピッキング 1 (テンポの速い 8 ビート)				
5 回目	オルタネイトピッキング 2 (シャッフルについて)				
6 回目	オルタネイトピッキング 3 (ゴースト・ノートについて)				
7 回目	変則ピッキング 1 (アップから入るパターン)				
8 回目	変則ピッキング 2 (速い 3 連符のパターン)				
9 回目	変則ピッキング 3 (ハンマリング、プリング使用パターン)				
評価方法	ピック弾きでの演奏技術向上度合、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ピックベース縦横無尽 Vol2		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
ピックベースの実践的、発展的レッスン。ピックを使ったベースラインの作り方、ハッパリ技を伝授。					
<b>到達目標</b>					
ピック弾きの基礎の発展と実践的ベースラインの作り方を習得					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	授業説明と「ピックベース縦横無尽 Vol1」の復習				
2 回目	実際の曲のフレーズをコピー①				
3 回目	実際の曲のフレーズをコピー②				
4 回目	実際の曲のフレーズをコピー③				
5 回目	実際の曲のフレーズをコピー④				
6 回目	METAL 的ピックフレーズ練習				
7 回目	FUNK 的ピックフレーズ練習				
8 回目	フュージョン的ピックフレーズ練習				
9 回目	JAZZ 的ピックフレーズ練習				
評価方法	ピック弾きでの演奏技術向上度合、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ピックベース縦横無尽 Vol3		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
ピック弾き上級編。コードストロークやスウィープなど、ピックを使った難易度の高いフレーズ練習を目的とした授業です。					
<b>到達目標</b>					
ピック弾きで 16 ビートのロック、ファンク、ブルース、フュージョンを弾けるように					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	16 系オルタネイトピッキングの強化				
2 回目	空ピックを使用したシンコペーションパターン				
3 回目	休符を感じる練習 (ゴーストノートを弾くことで休符を演奏する)				
4 回目	インサイドピッキングフレーズ				
5 回目	アウトサイドピッキングフレーズ				
6 回目	様々なオクターブフレーズ				
7 回目	16 系ゴーストノート多用フレーズ				
8 回目	16 系ロック、ブルースフレーズ				
9 回目	16 系ファンク、フュージョンフレーズ				
評価方法	ピック弾きでの演奏技術向上度合、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ベース・ソロ入門		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
ベース・ソロを弾く為の知識やテクニックを養います。様々なコード進行を想定し、ソロアプローチ法を紹介していきます。メンバー紹介された時、何か弾けるようになりましょう！					
<b>到達目標</b>					
ブルース、ファンクなど、簡単なコード進行上でアドリブソロが弾けるように。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	コードトーン (3.5.7.9 度の活用)				
2 回目	コードトーン+経過音 (クロマチックアプローチなど)				
3 回目	マイナーペンタトニック (Key:A、E)				
4 回目	メジャーペンタトニック (Key:A、E)				
5 回目	ブルーススケール (ブルースリックなど)				
6 回目	ジャズ風アプローチ (リーディングノートについて)				
7 回目	ドリアンスケール				
8 回目	ミクソリディアンスケール				
9 回目	ハーモニックマイナースケール				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	マークス・ミラー奏法		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	Soul/Funk、Rock、Jazz/Fusion から演歌までジャンルにとらわれないステージ、レコーディング、サポート、またミュージカルのバンドマスターも務める。ベースマガジンでは 27 年に渡り、奏法解説等を連載、また教則本も『プロ・ベーシストに近づくためのメソッド集』『プロとアマを分けるミュート技術』『ファンク・ベースの教科書』などピック弾き、スラップ、5 弦ベース等の専門書など多数執筆、海外でも発売している。				
<b>授業概要</b>					
様々なジャンルでスラップ奏法の有効性を示したマークス・ミラーのスラップメソッドを実践する。6 連符、32 分フレーズ、レフトハンド、ヒッティング、ミュートなどのフレーズの他、2 フィンガーでのブルージーな歌いまわしによるブルーノートを研究する。					
<b>到達目標</b>					
マークスのメソッドをセッションでスムーズに使えるようにする。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	振り上げ方(バウンス型)サムピングによるダウンストローク連打の持久力を養う。				
2 回目	親指の側面全体を使った効率の良いサムピングで太い音をだす。				
3 回目	プルの角度とタイミングで 32 部音符裏の 16 分音符など細かなアクセントを弾く。				
4 回目	サムピングと LHM(レフトハンド・ヒッティング・ミュート)のコンビネーション・プレイ				
5 回目	サムピングと LHM(レフトハンド・ヒッティング・ミュート)とプルのコンビネーション・プレイ				
6 回目	サムのダウン & アップを使ったベースライン				
7 回目	抑揚をたっぷりつけたソロプレイ				
8 回目	ソロプレイにおける構成力を養う。				
9 回目	マークスの楽曲をプレイしてみよう				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ラリー・グラハム奏法		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	Soul/Funk、Rock、Jazz/Fusion から演歌までジャンルにとらわれないステージ、レコーディング、サポート、またミュージカルのバンドマスターも務める。ベースマガジンでは 27 年に渡り、奏法解説等を連載、また教則本も『プロ・ベーシストに近づくためのメソッド集』『プロとアマを分けるミュート技術』『ファンク・ベースの教科書』などピック弾き、スラップ、5 弦ベース等の専門書など多数執筆、海外でも発売している。				
<b>授業概要</b>					
スラップ奏法の始祖ラリー・グラハムの曲全体を支配するボトムライクなプレイを実践することによりファンクミュージックの楽しさを実感する。親指のダウン & アップによるプレイやダブルストップの他のファンクに必要な持久力をつける。					
<b>到達目標</b>					
サムピング & ブラッキングで 1 曲を通してプレイできるスタミナを付ける。常にグルーヴライクな演奏姿勢で音楽に接する。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	スイングした 8 ビートによる FUNK リフをサムピング & ブラッキングでプレイする。				
2 回目	親指の振り抜型（スルー型）によるサムピングをマスターする。				
3 回目	最初は降り抜いた 8 ビートの裏をアップで引っ掛ける感覚で 16 ビートでの親指のダウン & アップを基本から覚える。				
4 回目	親指のダウン & アップにプルを加え、より立体的なリズム、複雑なリフに挑戦する。				
5 回目	シャッフル、3 連系のスラップを克服する。3 連の 4 つ割りなどのトリッキーなフレーズ練習。				
6 回目	ペントニック、ブルーノートを中心に、ダブルストップも加えたアドリブ・プレイ				
7 回目	ブルース・フィーリングあふれるラリーのソロプレイを研究				
8 回目	グラハム・セントラル・ステーションの楽曲をプレイ～その①				
9 回目	グラハム・セントラル・ステーションの楽曲をプレイ～その②				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ロックベース入門		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
ロックベースに必要な基礎テクニック、及びリズム感を養います。また、ロックの王道「ペンタトニックスケール」を理解し、フレーズネタを紹介していく授業です。					
<b>到達目標</b>					
ロックベースを研究し、習得する					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ロックのはじまりと R&R 王道パターン				
2 回目	ブリティッシュロックについて				
3 回目	アメリカンロックについて				
4 回目	パンクロックについて				
5 回目	プログレッシブロックについて				
6 回目	HR&HM について				
7 回目	ミクスチャーロックについて				
8 回目	エモロックについて、スクリーモについて				
9 回目	まとめとおさらい				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ロック的スラップ vol.1		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I , II	年次	1 年次,2 年次、研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
ロックなスラップ講座。簡単かつ、格好よいスラップネタを伝授。理論的なアプローチも試して、フレーズネタを増やしていこう。					
<b>到達目標</b>					
格好良さだけを追求したロックなスラップの習得。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ミクスチャーロックとは？ロック的スラップの定義。フォームについて。ロック的スラップ with 親指だけ。				
2 回目	ロック的スラップ with8 フィール				
3 回目	ロック的スラップ with16 フィール				
4 回目	ロック的スラップ with プルだけ				
5 回目	ロック的スラップ with ダブルプル				
6 回目	ロック的スラップ with6 連系				
7 回目	ロック的スラップ with 親指アップダウン				
8 回目	ロック的スラップ with タッピング				
9 回目	まとめと実技テスト				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	ロック的スラップ vol.2		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。				
<b>授業概要</b>					
ロックスラップ中級編					
<b>到達目標</b>					
スラップの中でもロックで頻出するフレーズ、パターンの習得。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	左手ゴーストノートの練習				
2 回目	右手ゴーストノートの練習				
3 回目	ハンマリング、プリングオフを多用したパターン				
4 回目	ゴーストノート多用パターン				
5 回目	3 弦ブルの練習				
6 回目	1、2 弦サムのみの練習				
7 回目	6 連系フレーズ 1				
8 回目	6 連系フレーズ 2				
9 回目	高速フレーズ練習				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	究極のピック弾き練習帳		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	Soul/Funk、Rock、Jazz/Fusion から演歌までジャンルにとらわれないステージ、レコーディング、サポート、またミュージカルのバンドマスターも務める。ベースマガジンでは 27 年に渡り、奏法解説等を連載、また教則本も『プロ・ベーシストに近づくためのメソッド集』『プロとアマを分けるミュート技術』『ファンク・ベースの教科書』などピック弾き、スラップ、5 弦ベース等の専門書など多数執筆、海外でも発売している。				
<b>授業概要</b>					
ピック弾きの特性はアタックの速さ、粒立ちの良い音、歯切れよさ、規則的な動きによる持久力などたくさんあるが、どれも演奏するジャンルを限定するものではない。様々なアイデアを組み合わせることにより、指弾きにも負けない音色バリエーションを引き出させて多くのジャンルに対応できるのが、ピック弾きだ。ロック系のピック弾きの魅力を再確認しつつ、ポップス、R&B、ファンク、ジャズなどすべてのジャンルに対応できるテクニックと表現力を身に着ける授業です。					
<b>到達目標</b>					
ピック弾きでオールジャンル、全ての音楽を表現できるようになる。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	全ての基本、効率の良いダウンピッキングを習得する。				
2 回目	ピック弾きの必修テクニックであるオルタネイト・ピッキングを習得する。インサイド・ピッキングとアウトサイド・ピッキングをバランスよく使う。				
3 回目	空ピックを使い、一定のスナップの動きでリズムキープをできるようにする。				
4 回目	ゴーストノートを使い、スピード感のあるプレイを決める。				
5 回目	ハンマリング、プリング・オフ、スライドなどの左手抑揚テクニックとピッキングのコンビネーションを鍛える。				
6 回目	手刀部をブリッジ寄りに置き、音色を積極的に変化させるパーム・ミュートを習得する。				
7 回目	オクターブや 10th フレーズなどの、難易度の高い弦跳びピッキングに挑戦。				
8 回目	基礎テクニックの最難関であるアルペジオに挑戦。				
9 回目	スラップにも負けないスナップを利かせたアタックの強いピッキングを習得する。				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	癒しのソロベース		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Bass Style Selection I, II	年次	1 年次, 2 年次, 研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float: right;">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、アメリカ西海岸を中心にさまざまなアーティストをサポート。帰国後もバンドやアーティストサポートなど精力的に活動している。				
<b>授業概要</b>					
ベース一本で奏でる癒しの音楽。メロディーとコードのベース音を同時に演奏する為のノウハウを学びます。ジブリ音楽、ゲーム音楽、洋楽&邦楽ポップス、民謡などを演奏します。					
<b>到達目標</b>					
ベース一本で、メロディーとコードのベース音を同時に演奏する為のノウハウを学ぶ					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	ハッピーバースデー / 蛍の光				
2 回目	クリスマス・イブ				
3 回目	FINAL FANTASY-Main Theme				
4 回目	Open Arms				
5 回目	もののけ姫				
6 回目	風のとおり道				
7 回目	Summer				
8 回目	Tomorrow never knows				
9 回目	Yesterday Once More / lastnote				
評価方法	習熟度、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Studio Work		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	2 年次、研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ヴォーカルコース以外のコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	数多くのアニソンアーティストをサポート。ドラゴンボール、ウルトラマン、ライディーンなどのアニメ主題歌を中心に CD 化されただけでも 1,000 曲以上をレコーディング。				
<b>授業概要</b>					
様々なジャンル、ビート、テンポの曲を初見演奏する。授業の最初に各パート譜を渡し、その場で譜読み、そしてアンサンブルする。譜面の読み方や、それぞれのジャンルの注意点、コツを学ぶ。クリックを聴きながらの同期演奏にも慣れる。					
<b>到達目標</b>					
レコーディングやセッションなど、初見演奏が求められる現場に対応できる演奏技術の習得。読譜能力の強化。					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	譜面の読み方。進行の仕方を学ぶ。				
2 回目	8 ビート曲(ロック)				
3 回目	8 ビート曲(ポップス)				
4 回目	8 ビート(アニソン系)				
5 回目	16 ビート(R&B、Funk 系)				
6 回目	16 ビート(Jpop)				
7 回目	16 ビート(レゲエ)				
8 回目	16 ビート(AOR)				
9 回目	ラテン、ジャズ系など。				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Tower of Groove!①		授業形態   必・選	実習	選択
	学則別表上表記	Drum Style Selection I, II	年次	2 年次、研究科	
授業時間	90 分 (1 単位時間 45 分)	年間授業数	9 回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI TOKYO 卒業後、Funk-A-Diddle、Page One などで活動中。Jazz、Soul、Funk などさまざまなアーティストと共演、サポートを行っている。前記経験を活かし、ドラム奏法の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
Tower of Power の Ds.David Garibaldi のリズムパターンを中心にそのコンセプト、ルーディメンツの応用方法を研究する。TOP の楽曲を取り上げながら、アンサンブルの中でのリズムの構築法を勉強します。ひと味違うリズムパターンを作りたい人の参考になります。ルーディメンツを有効活用したい人必見！					
<b>到達目標</b>					
楽曲のコンセプトやルーディメンツの応用方法の研究をできるようになる					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	"Can't You See"楽曲解説、パターン、フィル等練習				
2 回目	Garibaldi 流フィルアイデア①				
3 回目	"You Got To Funkifize"楽曲解説、パターン、フィル等				
4 回目	Garibaldi 流フィルアイデア②				
5 回目	"What Is Hip"楽曲解説、パターン、フィル等				
6 回目	Garibaldi 流フィルアイデア③				
7 回目	Garibaldi 流リズムアイデア				
8 回目	リズムパターンから楽曲をイメージして作曲に積極的に参加する方法				
9 回目	独自のパターンを作成				
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Advanced Harmony&Theory Ear Training 1		授業形態   必・選	講義	選択
	学則別表上表記	Style Selection I , II	年次	研究科	
授業時間	90分 (1単位時間 45分)	年間授業数	9回 (18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。				
<b>授業概要</b>					
H&T/ E Tのおさらいからさらに上級レベルまでの音楽理論と Ear Training					
<b>到達目標</b>					
上級レベルの音楽理論と Ear Training の習得					
<b>授業計画・内容</b>					
1回目	H&T/Classic Musical Notation, ET/melodic dictation(major key)				
2回目	H&T/Functions of Diminished 7th chord, ET/melodic dictation(minor key)				
3回目	H&T/Functions of Diminished 7th chord, ET/melodic dictation (non diatonic)				
4回目	H&T/Open Voicing & Close voicing, ET/chord quality (7th chords)				
5回目	H&T/Open Voicing & Close Voicing ET/chord quality (extended chords)				
6回目	H&T/Leading Tone & Tendency Tone, ET/chord progression				
7回目	H&T/Variations of Cadence, ET/chord & melody				
8回目	H&T/Variations of Cadence, ET/chord & melody				
9回目	テスト&テスト返し、復習				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Advanced Harmony&Theory Ear Training 2		授業形態   必・選	講義	選択
	学則別表上表記	Style Selection I , II	年次	研究科	
授業時間	90分 (1 単位時間 45分)	年間授業数	9回 (18 単位時間)	年間単位数	1 単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。				
<b>授業概要</b>					
Advanced H&T/ET1 の続き。作・編曲やインプロヴィゼーションへの応用					
<b>到達目標</b>					
作編曲、インプロヴィゼーションに応用でき、理論的な理解を聴覚でも把握できるようにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1 回目	Analyze"The Girl From Ipanema"Non-Functioning Dominant や Tritone Substitution の応用。 Transcribing chord progressions Secondary Dominant を含むコードチェンジの聴き取り				
2 回目	Harmonization メロディーにハーモニーを乗せる 3 つの基本的なハーモニーの動き				
3 回目	Transcribing chord progressions Modal Interchange を含むコードチェンジの聴き取り				
4 回目	Analyze"Count Down""Giant Steps"Multiple Tonic System の理解と応用				
5 回目	Transcribing chord progressions Modulation を含むコードチェンジの聴き取り				
6 回目	Outside Line インプロヴィゼーションにおけるアウトサイドラインの構築				
7 回目	Transcribing chord progressions 各種代理コードを含むコードチェンジの聴き取り				
8 回目	Counterpoint 対位法の基礎。Transcribing chord progressions 各種エクステンション、テンションコードを含むコードチェンジの聴き取り				
9 回目	テスト&テスト返し、復習				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Advanced Harmony&Theory Ear Training 3		授業形態   必・選	講義	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	研究科	
授業時間	90分 (1単位時間 45分)	年間授業数	9回 (18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。				
<b>授業概要</b>					
Advanced H&T/ET2 の続き。作・編曲やインプロヴィゼーションへの応用					
<b>到達目標</b>					
作編曲、インプロヴィゼーションに応用でき、理論的な理解を聴覚でも把握できるようにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1回目	H&T/Analysis of Modal Chord Progression, ET/Transcribing of Modal chord progressions				
2回目	H&T/Analysis of Modal Chord Progression, ET/Transcribing of Modal chord progressions				
3回目	H&T/Modal approaches for improvisations ET/Transcribing of Modal melody and chord progressions				
4回目	H&T/Drop voicings of chords ET/Listening of the drop chords				
5回目	H&T/Drop voicing of chords ET/Listening of the drop chords				
6回目	H&T/Combinations of chord inversion and drop voicings ET/Listening of the combinations of chord inversion and drop voicings				
7回目	H&T/Reharmonizations with Multi Tonic System ET/Transcribing the chord progressions of Multitronic System				
8回目	H&T/Quartal Harmony, ET/Listening and Analysis of Quartal Harmony				
9回目	テスト&テスト返し、復習				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Advanced Harmony&Theory Ear Training 4		授業形態   必・選	講義	選択
	学則別表上表記	Style Selection I, II	年次	研究科	
授業時間	90分 (1単位時間 45分)	年間授業数	9回 (18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科 コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood 卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆などをこなす。				
<b>授業概要</b>					
Advanced H&T/ET3 の内容をさらに深く追求し応用力を身につける。					
<b>到達目標</b>					
作編曲、インプロヴィゼーションに応用でき、理論的な理解を聴覚でも把握できるようにする					
<b>授業計画・内容</b>					
1回目	H&T/Quartal Harmony, ET/Listening and Analysis of Quartal Harmony				
2回目	H&T/Quartal Harmony, Analysis of "So What", "Maiden Voyage" ET/Listening and Analysis of Quartal Harmony				
3回目	H&T/Reharmonization with Multitronic system, "Tune Up" and "Count Down" ET/Listening and Analysis of "Tune Up" and "Count Down"				
4回目	H&T/ Symmetrical Scales "Chromatic, Whole Tone, Diminished and Dominant Diminish ET/ Transcribing the melodies with symmetrical scales				
5回目	H&T/ Explanation of Negative Harmony, ET/Listening Paganini Caprice No.24				
6回目	H&T/ Explanation of Negative Harmony, ET/Listening Rachmaninow Rapsody				
7回目	H&T/ Analysis of Paganini Caprice No.24 & Rachmaninow Rapsody, ET/Transcribing Paganini Caprice and Rachmaninow Rapsody				
8回目	H&T/ Neapolitan chord & Tristan Chord, ET/Listening and transcribing Neapolitan chord and Tristan Chord				
9回目	Final Exam				
評価方法	習熟度、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	必要に応じて資料を配布。				